

# 令和7年第1回野辺地町議会

## 定例会会議録

招集年月日 令和7年2月26日(水)

招集場所 野辺地町議会会議場

開会(開議) 令和7年3月5日(水)午前9時30分

出席議員(12名)

1番	横浜	睦成	2番	高沢	陽子
3番	木戸	忠勝	4番	村中	玲子
5番	五十嵐	勝弘	6番	戸澤	栄
7番	古林	輝信	8番	中谷	謙一
9番	野坂	充	10番	大湊	敏行
11番	赤垣	義憲	12番	岡山	義廣

欠席議員(なし)

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職・氏名

町	長	野村	秀雄						
副町	長	江刺家	和夫						
教	育	長	小野	淳美					
総	務	課	長	山田	勇一				
企	画	財	政	課	長	根	一彦		
防	災	管	財	課	長	西	館	峰夫	
産	業	振	興	課	長	上	野	義孝	
町	民	課	長	富	吉	卓	弥		
介	護	・	福	祉	課	長	飯	田	貴子
健	康	づ	く	り	課	長	木	明	修

建設水道課長	五十嵐	洋介
会計管理者	高山	幸人
学校教育課長 兼学校給食共同調理場所長	飯田	満
学校教育課指導室長	向中野	純子
社会教育・スポーツ課長兼中央公民館長 兼図書館長兼歴史民俗資料館長	玉山	順一
代表監査委員	駒井	広
総務課主幹	四戸	俊彰
総務課総括主査	木村	卓磨

本会議に職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局長	田中	利実
議会事務局主幹	濱中	太一

議事日程（第3号）

日程第1 議案審議

1、議案第6号 令和7年度野辺地町一般会計予算

町長の提出議案 な し

議会の提出議案 な し

会議に付した議案

議案第6号 令和7年度野辺地町一般会計予算



---

◎開議の宣告

○議長（岡山義廣君） これから本日の会議を開きます。

（午前 9時30分）

---

◎議案審議

○議長（岡山義廣君） 日程第1、議案審議を行います。

議案第6号 令和7年度野辺地町一般会計予算を議題とします。

歳入から始めます。予算書23ページの第1款町税から32ページの13款使用料及び手数料まで、副町長から主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家夫君） おはようございます。議案第6号 令和7年度野辺地町一般会計予算についてご説明を申し上げます。

予算の総額は76億2,900万円となりました。前年度当初予算と比べて3億1,100万円、率にして3.9%の減となります。

それでは、歳入の主なるものについてご説明申し上げます。予算書の23ページからになります。1款町税は、総額で14億2,199万6,000円、前年度と比較して796万円の増となりました。

1項町民税、1目1節個人町民税の現年課税分は4億9,240万円となりました。前年度と比較して、1,300万円の増額を見込みました。

2目1節法人町民税の現年課税分は8,110万2,000円を見込みました。ほぼ前年度並みでございます。

2項1目固定資産税は、1節現年課税分を6億5,650万1,000円を見込みました。前年度と比較して430万円の増で、主に償却資産の増が要因であります。

24ページをお願いいたします。3項軽自動車税、2目種別割、1節現年課税分は、ほぼ前年並みの3,850万1,000円を見込みました。

4項町たばこ税は、直近の実績から減少本数を見込み、前年度と比較して1,010万円減の1億2,620万円を見込みました。

下段の2款地方譲与税から、26ページの9款地方特例交付金までは、いずれも国の地方財政計画に基づいて計上しております。

26ページの下段の10款地方交付税は、26億円を計上いたしました。内訳は、普通交付税が前年度と比較して7,000万円増の23億2,000万円、特別交付税が前年度と比較して2,000万円増の2億8,000万円であります。令和6年度の決算見込みや国の地方財政計画、令和7年度の町税見込みを考

慮して計上いたしました。

27ページに参りまして、下段の12款分担金及び負担金、2項1目民生費負担金、2節児童福祉費負担金は、令和6年10月から開始しております保育料の無償化によりまして、前年度と比較して1,364万1,000円減の46万6,000円を計上いたしました。

3目教育費負担金、1節、学校給食費個人負担金、現年度分は647万8,000円で、こちらも令和6年10月からの給食費無償化により、前年度と比較して3,084万1,000円の減となりました。ここに計上しているのは、教職員と給食センター職員分になります。

28ページをお願いします。13款使用料及び手数料は、総額で5,349万9,000円を計上いたしました。前年度と比較して256万円の減であります。

1項2目民生使用料、1節老人福祉センター使用料は、令和6年10月から町社会福祉協議会が老人福祉センターから健康増進センターへ移転したため、前年度と比較して79万9,000円の減であります。科目存置のため、1,000円を計上いたしました。

3目衛生使用料、1節健康増進センター使用料は、ただいまの社会福祉協議会の移転により、前年度と比較して皆増の96万3,000円を計上いたしました。

30ページを飛ばしまして31ページをお願いいたします。2項手数料は、総額で前年並みの2,380万6,000円を計上いたしました。

以上、1款町税から13款使用料及び手数料までご説明申し上げました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 1款町税から13款使用料及び手数料までの質疑を行います。ページ数を言ってから質疑をお願いします。質疑ありませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 26ページの地方交付税についてお伺いしたいと思います。

この地方交付税には交付税算入分の、要は地方債に対する国の支援のお金が含まれていると思いますが、交付税算入の相当額というのはどれぐらいを見込んでいるのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えいたします。

公債費を見込んでいるのは4億7,000万円ほどになっております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 今ご答弁いただいた4億7,000万円ほどを見込んでいるということで、これが公債費に充てられる予定という解釈でよろしいのですか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えします。

交付税算入分として見込んでいるのは、この額であります。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで1款町税から13款使用料及び手数料までの質疑を終わります。

次に、予算書32ページの14款国庫支出金から40ページの15款県支出金まで、副町長から、主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家和夫君） 32ページ中段の14款国庫支出金についてご説明申し上げます。

国庫支出金は、総額で7億3,606万8,000円、前年度と比較して9,401万3,000円の増であります。

1項1目民生費国庫負担金は5億9,233万6,000円で、前年度と比較して8,062万9,000円の増であります。3節障害者福祉費負担金の障害福祉サービス費等は、令和6年度の報酬改定等により費用が増加していることから、前年度と比較して1,875万円増の2億2,500万円を計上いたしました。

33ページに参りまして、5節児童手当負担金は、令和6年度の児童手当法改正によりまして、前年度と比較して6,214万6,000円増の1億3,609万8,000円を計上いたしました。

2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金、1節総務管理費補助金のデジタル基盤改革支援事業費は、令和8年度から運用開始を予定しております地方自治体の基幹業務システムの標準化への移行費用を全額国が負担するもので、前年度と比較して1,334万5,000円増の6,172万3,000円を計上いたしました。4節安心安全まちづくり対策費補助金の空き家対策総合支援事業費は、町内の空き家の実態調査等を行うこととしており、前年度と比較して317万4,000円増の392万4,000円を計上いたしました。

34ページをお願いします。2目民生費国庫補助金、2節児童福祉費補助金、出産・子育て応援交付金ですが、子ども・子育て支援法の改正により、新年度から妊婦のための支援給付交付金に変更となるため、妊婦のための支援給付費のほうに424万4,000円を計上いたしました。

5目教育費国庫補助金の1節小学校費補助金と、2節中学校費補助金の理科等教育設備整備費は、隔年で実施しているものでございます。

35ページに参りまして、中段の15款県支出金は、総額で9億7,539万5,000円を計上いたしました。前年度と比較して1億6,645万2,000円の増であります。

36ページをお願いします。中段の2項県補助金は、前年度と比較して1億4,442万7,000円増の6億509万7,000円を計上いたしました。

1目総務費県補助金、2節電源立地地域対策交付金は、むつ市の中間貯蔵施設の運転開始等により、前年度と比較して2,940万円増の2億6,174万7,000円を計上いたしました。3節核燃料物質等取扱税交付金は、市町村への配分割合の変更に伴いまして、前年度と比較して6,260万1,000円増の2

億1,933万6,000円を計上いたしました。

37ページに参りまして、下段の2目民生費県補助金、4節児童福祉費補助金は、前年度と比較して226万2,000円増の2,837万1,000円となりました。医療的ケア児保育支援事業費396万7,000円は、町内保育所に通う医療的ケア児の受入れ経費に係る県補助金であります。

38ページをお願いします。下段の6目教育費県補助金は、前年度と比較して皆増の5,785万5,000円となりました。学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金は、給食費無償化に係る県からの交付金で、3,207万9,000円を計上いたしました。学校における働き方改革推進事業費は、校務支援システムの導入に伴うもので、139万3,000円を計上いたしました。公立学校情報機器整備事業費は、G I G Aスクール端末の更新に伴うもので、2,438万3,000円を計上いたしました。

39ページに参りまして、3項県委託金は、前年度と比較して総額で1,921万9,000円増の3,963万8,000円を計上いたしました。国勢調査費及び参議院議員通常選挙費の皆増によるものであります。

1目総務費県委託金、4節統計調査費委託金の国勢調査費は、5年ごとに実施されるもので、685万3,000円を計上いたしました。5節選挙費委託金の参議院議員通常選挙費は、1,341万3,000円を計上いたしました。

以上、14款と15款でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 14款国庫支出金から15款県支出金まで質疑を行います。ページ数を言ってから質疑をお願いします。質疑ありませんか。

7番、古林輝信君。

○7番（古林輝信君） 33ページの14款2項の4節、空き家対策の支援事業費についてお聞きしたいと思いますので、説明をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 防災管財課長。

○防災管財課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

空き家対策のところ、3軒程度の空き家で危険なものに関して解体するもの、50万円掛ける3軒の150万円ぐらいを例年計上しておりました。今年度は、そのほかに空き家の実態調査、これは514万8,000円、これの2分の1が補助になりますけれども、こちらのほかに空き家のリフォーム事業、これは30万円掛ける4件で120万円、これの2分の1の60万円で、実態調査の分の半額の260万円ぐらいとリフォーム事業の60万円ぐらい、こちらのほうが前年より増えております。

○議長（岡山義廣君） そのほか質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで14款国庫支出金から15款県支出金までの質疑を終わります。

次に、予算書40ページの16款財産収入から48ページの21款町債まで、副町長から主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長(江刺家夫君) それでは、40ページをお願いいたします。16款財産収入は、総額で1,822万6,000円となりました。

1項1目1節土地建物貸付収入の野辺地工業団地1,236万9,000円は、太陽光発電施設用地の貸付収入でございます。

41ページを飛ばしまして、42ページをお願いいたします。中段からの2項基金繰入金は、総額5億4,282万6,000円となり、前年度と比較して1億9,025万1,000円の減となりました。

1目財政調整基金繰入金は、前年度から1,000万円減の3億2,000万円を計上いたしました。当初予算におきまして、歳出に対して歳入が不足する額を補填するための措置でございます。

3目学校建設基金繰入金は、811万5,000円を計上いたしました。これは、小学校耐震化事業のために発行した町債の償還と、統合小学校新築事業に係る確認申請手数料などの起債の対象外になる部分に充てるものでございます。

4目公共施設整備基金繰入金は、令和6年度当初予算編成時は、統合小学校新築事業の起債対象外経費に充当することとしておりましたが、財源を学校建設基金へ組み替えることとしたため、科目存置で1,000円を計上いたしました。

5目役場庁舎建設基金繰入金は、新庁舎建設事業の完了により、前年度と比較して1億6,940万円減の5,671万5,000円を計上いたしました。新庁舎建設に係る町債の償還に充てる予定としております。

7目みちのく丸地域活性化基金繰入金は、みちのく丸の維持補修費用に充てることとし、361万5,000円を計上しております。

8目森林環境譲与税基金繰入金は、柴崎地区健康レクリエーション施設や愛宕公園の桜植樹事業などに充てることとし、939万1,000円を計上いたしました。

43ページに参りまして、10目電源立地地域対策基金繰入金は、令和6年度に積み立てたものを消防活動推進事業に充てることとしており、6,006万8,000円を計上いたしました。

19款繰越金は、科目存置といたしました。

20款諸収入は、総額で599万3,000円減の6,771万4,000円を計上いたしました。

44ページをお願いいたします。中段の4項4目一体的実施事業収入は、青森県後期高齢者医療広域連合からの受託事業で967万1,000円を計上いたしました。

45ページを飛ばしまして46ページをお願いいたします。中段にありますコミュニティ助成事業助成金ですが、令和7年度は中道ふれあい公園の遊具更新事業に1,000万円、消防団旗の更新に100万円を申請中であります。

47ページに参りまして、下段の21款町債は、総額7億6,890万円で、新庁舎建設事業の完了等によ

り、前年度と比較して4億5,520万円の減となりました。

1項2目1節民生債の児童館新築事業は、統合小学校に併設する児童館の実施設計を行うもので、980万円を見込んでおります。

3目1節衛生債のごみ処理施設改修事業負担金は、北部上北広域事務組合の焼却場費負担金に充てるもので、8,610万円を計上いたしました。野辺地病院医療機器等更新事業負担金は、医療機器の更新などに係るもので1,720万円を計上いたしました。斎場改修事業負担金は、斎場の火葬炉及び施設の整備に係る北部上北広域事務組合への負担金に充てるもので、950万円を計上いたしました。

4目1節農林水産業債の水産生産基盤整備事業負担金は、船揚場の改良等を行う県事業に係る負担金に充てるもので、4,000万円を計上いたしました。

48ページをお願いします。5目土木債、2節河川債は、大雨時に冠水のおそれがある御手洗瀬川の改修と、町道からの排水を流している大月平地区ほかの水路のしゅんせつを行うものであります。4節急傾斜地対策事業債は、令和6年度に引き続き、上小中野地区の急傾斜地対策に係る県事業の負担金であります。

6目消防債は、前年度と比較して1億1,950万円増の2億8,270万円を計上いたしました。消防用車両整備事業負担金は、野辺地消防署で使用する救助工作車の更新に充てるもので、1億9,520万円を計上いたしました。消防団車両整備事業は、消防団第2分団車両の更新に充てるもので、3,280万円を計上いたしました。消防団屯所整備事業は、馬門地区の第4分団の屯所を旧馬門小学校敷地内に移転するための工事費等に充てるもので、5,310万円を計上いたしました。

7目教育債は、昨年度と比較して2,010万円増の1億5,950万円を計上いたしました。給食センター改修事業は、経年劣化した車庫の電動シャッターを更新するもので、230万円を計上いたしました。町立体育館改修事業は、競技場照明のLED化に係る設計を行うもので、100万円を計上いたしました。統合小学校新築事業は、統合小学校新築工事の実施設計を行うもので、1億1,090万円を計上いたしました。臨時財政対策債は、地方財政計画において令和7年度は発行予定なしと示されていることから、計上はしておりません。

以上、16款からでございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 16款財産収入から21款町債まで質疑を行います。ページ数を言ってから質疑願います。質疑ありませんか。

4番、村中玲子君。

○4番（村中玲子君） 42ページの馬門財産区会計繰入金、これは毎年5,000円ずつ繰入れになっていると思うのですが、これが現在幾らあるのかというのは教えていただくことはできるのですか。

○議長（岡山義廣君） 総務課長。

○総務課長（山田勇一君） お答えします。

この繰入金は、馬門財産区議員の非常勤公務災害補償等組合に負担する分を財産区さんのほうから一般会計のほうに繰入れして、一般会計のほうでほかの職員分と合わせて納付するということとなりますので、基金への繰入れではなくて公務災害で支払う分の議員の負担分となります。

○議長（岡山義廣君） 9番、野坂 充君。

○9番（野坂 充君） 47ページになりますけれども、町債のごみ処理施設改修事業、ごみの焼却場はかなり年数たっているのですけれども、去年の夏にクリーンセンターというすばらしい焼却場ができたのですが、野辺地というか、3町村合同なのですけれども、新築するという予定はあるのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 答弁できますか。

副町長。

○副町長（江刺家夫君） 北部上北、ごみの焼却施設ですけれども、建物、それから炉についても長寿命化ということでありまして、その後それができなくなった場合ということでして、建物はまだ大分もつだろうと。中の炉のほうは、場合によっては交換しなければいけないということで、今後その辺の整備計画をつくる予定ということで聞いておりました。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 今ごみ焼却施設の話が出ましたので、47ページ、同じところで聞きたいと思って質問させていただきます。

同じごみ焼却施設改修事業負担金8,600万円余りありますが、この改修内容というのは聞いておりますか。

○議長（岡山義廣君） 先ほど副町長から説明がありましたとおり、北部上北広域事務組合のほうの事業になりますので、詳細は分かっているかも分かりませんが、この質問は当議会ではあまり詳しくないかなと思いますので、質問を変えていただきたいと思います。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 議長はそうおっしゃいますけれども、何をどう改修するか分からないところに8,600万円も町から出すわけにいかないとは思うのですけれども、これで説明いただけないでしょうか。分かる範囲で結構です。

○議長（岡山義廣君） 11番の質問は十分理解できますけれども、いかがですか、答弁できる方。町民課、できますか。

町民課長。

○町民課長（富吉卓弥君） ただいまの質問にお答えします。

修繕内容とすると中にあるプラントと、あと昨年井戸のほうで枯渇するとか、そういう問題があ

りました。その修繕のほうにかけると思います。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） ありがとうございます。そういったところに町からも支出するというのは、妥当というか、いいことだと思います。ありがとうございます。

40ページの財産貸付収入についてお伺いします。この中で東北電力さんから1万1,000円ですけれども、ありますが、これの内容をお聞きしたいです。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

1万1,000円の内訳でございますが、工業団地の送電線鉄塔敷分の土地の収入であります。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） ありがとうございます。

42ページです。繰入金の財政調整基金繰入金3億2,000万円とあります。昨年12月の中期財政見通しをいただいたときに、財調の繰入れはゼロの見通しとあったのですが、たった3か月か何ぼで3億2,000万円を繰入れするというところに変わった理由を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えいたします。

やはり予算編成の中で必要となったために3億2,000万円を繰入れしているということです。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 今のは答弁になっているのかな。何で予算編成の上で、今予定がなかったところが3億2,000万円も、要はある財源で足りないから貯金を下ろしてくるということだと思うのですが、3億2,000万円というのは相当な金額なのですけれども、予算編成上でという説明だけだと、ちょっと納得いかないのですが、もうちょっと教えてもらってよろしいですか。

○議長（岡山義廣君） 副町長。

○副町長（江刺家利夫君） 毎年度予算編成する際に、どうしても決算のときに、入札でもそうですけれども、執行残というのが残って、その分歳入が少なくても対応できるという状況でございます。毎年毎年予算編成時には3億円程度を積んで見込んでおりますが、決算の段階で、これは多分ゼロ、あるいは逆に財政調整基金に繰入れできる分が余るということで、これまで野村町政、予算調整を4年、5年やってきております。予算編成の段階では大体3億円程度を毎年、たしかこういう形で計上していたと思います。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） それは結果論であって、決算でももちろん使わなかったお金があれば財調を使わなくて済む、戻す、あるいは積み増しするという方向に進むのは理解できるのですが、予算の

段階で計上していなかったというか、見通しにはなかったものが、何で3億2,000万円、急にぼんと出てくるのかなと。これまで毎年3億円ぐらい計上していたというのは、それは承知しておりますけれども、その貯金を下ろさなくてもやっていくよというような予算編成をするべきではないのかなと私は個人的に思うのですが、どうしてもその貯金を崩さないと賄い切れないという見込みで予算を立てていると思うのですけれども、何でゼロから3億2,000万円に変わったのかという。例えば想定していなかったけれども、予算編成上、こういうところが支出が増える見込みになったから3億2,000万円必要になったとか、そういう説明をいただきたいのですが、いかがですか。

○議長（岡山義廣君） 副町長。

○副町長（江刺家和夫君） 3億2,000万円が変わったというのは、ちょっとどういう意味か分からないのですけれども、毎年度余裕を持って財政調整基金を積んでおります。仮にこれをゼロで予算編成しようとなれば、各事業、若干の余裕を持って、予算が不足しないように余裕を持ってやりますけれども、それから3億円引くことになれば、実際できるのだけれども、計上できない事業が3億円分出てくるということです。結局決算段階で3億円ぐらいの余ったお金が出てくるという、実際それが効果的な財政運営かとなれば、そうではなくて、普通の予算編成のテクニックとして多めに財政調整基金を計上しているという、通常の予算編成のテクニックに基づいて計上しているだけのことです。

○議長（岡山義廣君） 11番、今と関連した同じ質問ですか。

○11番（赤垣義憲君） いや。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 今の答弁で「分からない」と言ったので、そこだけ言っておきます。

中期財政見通しの令和7年度の見通しで財調の取崩しはゼロと書かれていて、3億2,000万円、今回の予算に計上したと、そこが変わったという意味でお話ししました。

同じ42ページです。学校建設基金繰入金811万5,000円計上されておりますが、この使い道は128ページの小学校統合事業費の財源、その他の部分で402万4,000円とあるのですが、恐らくそれにも当たるのかなと思うのですけれども、それ以外に学校建設基金を使う項目というか、目的というかはありますか。

○議長（岡山義廣君） 副町長。

○副町長（江刺家和夫君） 今の質問の前に、先ほどの変わった部分ですけれども、財政の中期見通しというのは決算ベースで、これは当初予算ベースですので、決算ベースだと大体ゼロということになります。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えいたします。

学校建設基金繰入金ですけれども、耐震化事業をやった公債費の償還にも充てております。取り崩して充てておりますので、ご理解のほうよろしくをお願いします。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 過去にやった耐震工事の公債費に充てるという解釈でよろしいですか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） はい、そのとおりです。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） ちょっと記憶が定かではないので確認したいのですが、この学校建設基金というのは、今言った耐震工事に充てる場所も含まれていたのでしたっけか。そこをちょっと確認したいのですが。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） 学校建設基金のお話で、条例の設置目的をお話しさせていただきます。町立学校建設の資金及び町立学校の耐震改修事業等のため発行した地方債の償還に充てるため基金を設立するという目的になっておりますので、そのとおりであります。

○議長（岡山義廣君） 5番、五十嵐勝弘君。

○5番（五十嵐勝弘君） 40ページ、財産収入の2目の東北電力株式会社株式配当金54万2,000円の計上があるのですが、昨年度はたしか18万円だったと記憶していますが、3倍になっているのですけれども、これ何は要因がございますか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えいたします。

1口当たりの配当が高くなったため、そういう感じで算出しております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 47ページです。町債についてお伺いします。

様々な町債の記載があるのですが、この町債全体の中で過疎債に当たるものの金額を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えいたします。

過疎債全体では4億7,260万円ほどとなっております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 町債に含まれているかどうかちょっと分からないのですが、毎年一時借入金というのを使っていると思うのですが、地方自治法の第235条の3に一時借入金を借り入れるときに予算で最高額を定めなければならないという条文があるのですが、これは町債に当たるのかち

よっと分からないのですけれども、どの部分で聞けばいいのか分からなかったので、ここで聞かせていただきますが、一時借入金の借入最高額を予算で定めなければならないというところは、どう解釈すればよろしいでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 会計管理者。

○会計管理者（高山幸人君） 一時借入金の事務は税務会計課で行っておりますので、私のほうから回答いたします。

こちらの予算書の3ページをお願いいたします。議案第6号とありまして、こちらの第4条、こちらのほうに一借の借入最高額は20億円と定めるといふふうにあります。こちらが根拠になっているかと思えます。

以上です。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 以上で歳入の質疑を終わります。

次に、歳出を款ごとに行います。

初めに、第1款議会費について、副町長から主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家和夫君） それでは、歳出予算の主なるものについてご説明申し上げます。

予算書の51ページをお願いいたします。1款議会費は7,995万2,000円となり、前年度と比較して381万円の増となりました。1節報酬は181万6,000円増の3,544万円となりました。新たに会計年度任用職員1名を任用し、会議録作成等の業務を行ってまいります。

52ページをお願いいたします。12節委託料の議場設備保守点検業務は、システムの動作確認などの点検を行うものでございます。

以上が1款の議会費でございます。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） それでは、1款議会費について質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで1款議会費の質疑を終わります。

次に、2款総務費について、副町長から主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家和夫君） 52ページ下段の2款総務費についてご説明申し上げます。

総務費全体の予算総額は10億1,900万4,000円となり、前年度と比較して7億3,118万7,000円の減となりました。

53ページを飛ばしまして、54ページをお願いいたします。下段の12節委託料のふるさと納税関連

事務委託業務は、寄附者の増加を図るため、ふるさと納税の窓口となるポータルサイトを4社に増やしまして、91万2,000円を計上いたしました。

55ページに参りまして、下段の18節負担金補助及び交付金の北部上北広域事務組合8,194万6,000円は、事務組合の議会費と総務費に係る負担金になります。

56ページを飛ばしまして、57ページをお願いします。4目財産管理費は、主に役場庁舎及び町有財産の管理に係る経費でありまして、前年度と比較して269万3,000円増の7,183万7,000円を計上しております。12節委託料の個別施設計画改定業務は、新庁舎など公共施設の建物や廃止があったことを踏まえまして計画変更を行うもので、555万5,000円を計上いたしました。

58ページを飛ばしまして、59ページをお願いします。6目企画費には、町の施策全般の企画及び調整に係る経費などを計上しております。前年度と比較して747万7,000円減の7,459万6,000円となりました。12節委託料の総合計画策定業務は、令和6年度に引き続き、野辺地町まちづくり総合計画の後期基本計画を策定するもので、令和7年度の590万6,000円を計上いたしました。地域おこし協力隊コーディネート業務は、情報発信分野に特化した協力隊員に係る経費について委託するもので、520万円を計上いたしました。

60ページをお願いいたします。地域おこし協力隊募集業務は、令和8年度から活動を開始する新たな協力隊の募集に係る経費として299万4,000円を計上いたしました。

61ページに参りまして、18節負担金補助及び交付金のバス路線維持対策費は、前年度と比較して486万1,000円増の2,762万円を計上いたしました。移住支援事業費200万円は、県との共同事業で、東京圏からの移住者に対し補助金を支給するものでございます。

62ページをお願いいたします。9目電子計算機管理費は、前年度と比較して3,354万1,000円増の1億4,399万円となりました。12節委託料のシステム標準化移行業務は、国が進めている自治体システムの統一化に対応するための業務で、4,888万4,000円を計上いたしました。13節使用料及び賃借料の電子計算機5,306万4,000円は、電子計算機の第8次導入に要する経費となります。ガバメントクラウド利用料は、国が構築したガバメントクラウドサーバーの利用料といたしまして2,661万3,000円を計上しております。

10目電子自治体推進対策費は、総合行政ネットワーク及びマイナンバー関連機器の維持管理等に要する経費で、前年度と比較して1,637万6,000円増の2,677万5,000円を計上いたしました。12節委託料のDX推進アドバイザー業務は、町のDXを推進していくため、外部のアドバイザーから助言や業務支援を受けるもので、501万円を計上いたしました。公式SNS環境構築業務75万9,000円は、町の公式ラインを導入し、町民の皆様により的確な情報発信をするため計上いたしました。

63ページに参りまして、13節使用料及び賃借料は294万円となりました。電子申請システムを様々な業務に展開し、町民の利便性向上や職員の業務効率化を図るため、電子申請サービス利用料と

して112万2,000円を計上しております。また、先ほどの公式SNSの利用料といたしまして77万円を計上いたしました。

64ページをお願いいたします。2項徴税費は、総額で前年度と比較して2,459万9,000円増の1億2,033万5,000円を計上いたしました。

65ページに参りまして、2目賦課徴収費、12節委託料は、前年度と比較して1,923万2,000円増の3,121万7,000円を計上いたしました。9年度の土地価格の評価替えに向けた標準地の不動産鑑定評価の実施や、各種基礎資料の更新を行うための業務が増となったことが主な要因でございます。

少し飛ばしまして、67ページの一番下から68ページにかけまして、3項1目戸籍住民基本台帳費、12節委託料は、戸籍システム機器の更新業務やシステム標準化に係る経費など2,107万9,000円を見込んでおります。

69ページをお願いいたします。4項選挙費は、令和7年7月に予定されている参議院議員通常選挙の経費を計上いたしました。

70ページをお願いいたします。5項統計調査費は、前年度と比較して610万5,000円増の702万1,000円を計上いたしました。5年に1度実施される国勢調査に係る経費を計上したことによる増でございます。

71ページを省略しまして、72ページをお願いいたします。7項安全安心まちづくり対策費、3目防災諸費、10節需用費には、毎年整備しております備蓄食に加えまして、折り畳みベッド、簡易トイレ及びトイレ用テントを整備するため、消耗品費として439万3,000円を計上いたしました。

73ページに参りまして、12節委託料の地域防災計画修正業務215万8,000円は、3年ごとに地域防災計画の見直しを行うもので、県の計画変更に合わせて修正を行うものであります。空家調査業務は、次期空家等対策計画の策定に向け、町内にある空き家の件数や状態等の実態を調査するもので、794万2,000円を計上いたしました。

74ページをお願いします。18節負担金補助及び交付金の空家リフォーム事業費は、空き家のリフォーム費用を町が補助するもので、120万円を計上いたしました。

以上、2款総務費についてでございます。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 2款総務費について質疑を行います。質疑はありますか。ページ数を言ってからご質問ください。

3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 61ページの6目企画費、バス路線維持対策費とあるのですけれども、これは下北交通さんと十和田観光電鉄さんの路線バスの補助ということですか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えいたします。

その2社の分の補助金となっております。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） その補助金額の内訳を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） 現段階での見込みとして、十和田観光さんのほうに1,600万円ほど、下北交通さんのほうに1,100万円ほどを見込んでおります。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 72ページ、1目交通安全対策費、ここに交通安全協会の補助金とあるのですけれども、交通指導隊には補助金がないのですけれども、これは検討する余地はありますか。

○議長（岡山義廣君） 防災管財課長。

○防災管財課長（西舘峰夫君） お答えいたします。

指導隊さんのほうは直接町からではなくて、交通安全協会さんのほうをくぐった形で支援をしております。

○議長（岡山義廣君） 7番、古林輝信君。

○7番（古林輝信君） 2款の61ページの結婚新生活支援事業費、何組ぐらい予定しておりますか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えいたします。

今年度の実績でいえば2件ほどになっておりますけれども、大体2件ほどを見込んだ予算を考えております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） おはようございます。61ページです。協働のまちづくり推進事業費なのですが、提案理由の説明で対象要件を緩和する等の少し事業の見直しを図られるという提案がございました。詳しくどのような事業にされるのか、説明をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えいたします。

これまでは1回ほどしか補助対象としておりませんでしたけれども、継続支援をしていきたいなと思って、最大3年間、3回まで使えるということで制度を見直しております。ただし、補助額は少し下げた中での考え方で今整理しております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 同じく61ページの下のところの補助金なのですけれども、引越支援事業費

と移住者自動車運転技術向上支援事業費、この2つの事業の詳細を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えいたします。

まず、引越支援事業ですけれども、移住定住を促進するための目的で事業を考えました。県外から移住する場合、ただし転勤や一時的な滞在ではなく移住定住を対象として、その方の世帯の引っ越し費用の一部を補助すると。補助率は2分の1、上限は10万円。ただし、若年世帯、40歳未満の方が引っ越しする場合、または18歳未満の子供がいる世帯が移住して引っ越しする場合は補助率を3分の2、ただし上限は同じく10万円としております。ただ、補助金の制度がいろいろあるのですけれども、その補助金を活用すれば、あるいはその補助金を控除した額を上限として、いろんなこれ以外の引っ越しに関わる補助金制度がありますので、それを使った場合はそれを控除した額の中で上限10万円ということで考えております。

次は、移住者自動車運転技術向上支援の件ですけれども、これは移住者の受入れ態勢の整備の一環として位置づけております。移住者が移住の前の生活においてペーパードライバーだったり、自動車を利用する機会が少なく、冬期間において雪道等で運転が不慣れということも想定されますので、当町で生活をする際、自動車運転に不安がないよう、少しでも解消できればという考えをもちまして、自動車学校での運転講習費用の一部を補助するというものでありまして、補助は1回当たり講習料4,000円を上限として6回まで、自動車学校においてはセットという話もあるのですけれども、その場合は3万円を上限とした考えを持っております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 59ページの6目企画費、再生可能エネルギー推進協議会委員とあるのですけれども、これはどのような方が何名で、どのような協議を行っておりますか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えいたします。

今現在15名の委員を委嘱しております。メンバーとしては、町関係者、各種事業者、それから学識経験者、大学の先生等になっております。協議内容としましては、再エネの事業をする方が計画していることに対する意見を徴取したりするものであります。おおむねその計画書に対する意見を交換する場ということになっております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 62ページです。10目12節委託料、DX推進アドバイザー業務が500万円ほどあります。どのような方をアドバイザーとして受け入れるのか。その業務は年間を通してなのか、要はDX化がある程度できるところまでという期間を区切っている事業なのか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 総務課長。

○総務課長（山田勇一君） お答えします。

D X推進アドバイザー業務については、個人との契約ではなくて、業者さんのほうにお願いしてアドバイザーを派遣していただくことにしております。令和7年度につきましては、ある程度町のほうでやる事業、例えばD X化できる業務の洗い出しとか、そういったものをお願いしながら、まずは1年間やっていただくと。令和8年度以降については、その進み具合を見て判断していきたいと考えております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 62、63ページ、両方にあるのですけれども、公式SNSという言葉が出てきましたが、具体的にSNS、何を町では採用するのか。ラインとかインスタグラムとか様々あると思いますが、何をやろうとしているか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 総務課長。

○総務課長（山田勇一君） お答えします。

町では現在のところラインを予定しております。

○議長（岡山義廣君） 9番、野坂 充君。

○9番（野坂 充君） 56ページの文書広報費、これに関連してなののですけれども、広報と一緒に自治会に回覧の文書が来るのですけれども、昔というか、今使っている回覧板、あれは町から自治会に渡っているのですけれども、1班に最低2枚が必要なのです。まだ在庫があるかどうか、もしなかったら町で作っていただきたいのですけれども、その辺はどうでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 総務課長。

○総務課長（山田勇一君） 私の記憶では、まだ在庫が何個かあるかと思います。後ほど確認してとなりますけれども、もし必要な場合は冊数を教えていただければ対応はしたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 73ページです。3目12節委託料、空家調査業務に800万円弱計上されておりますが、これは空き家を調査するという説明を受けましたけれども、その後調査結果はどのように生かされるのか。調査だけで800万円もかかるものなのか、その辺ご説明をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 防災管財課長。

○防災管財課長（西館峰夫君） お答えいたします。

まず、前回は令和元年度に行っております。6年ぐらい間を置いての調査になりますので、大分抜けというか、把握漏れとか解体済み、あるいは持ち主とか相続者がかなり変わっているものがあります。これを一から現地を見ながら洗い出すというのが1つと、その活用する方法ですけれども、今の雪なんかもそうですけれども、空き家から屋根の雪が落ちて道路を塞いだりもします。その際

に速やかに連絡が取れるように、どこがそういうふうな状態になったのかを把握して、その連絡先を突き止めていくというようなものを整備したいと、こちらのほうにお金をかけたいと思っております。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで2款総務費の質疑を終わります。

これから休憩に入りたいと思います。55分まで休憩しますので、よろしく申し上げます。

休憩（午前10時43分）

---

再開（午前10時55分）

○議長（岡山義廣君） 再開します。

3款民生費について、副町長から主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家夫君） 74ページです。3款民生費、中段です。民生費の総額は21億318万円で、前年度と比較して1億535万1,000円の増となりました。

75ページを飛ばしまして、76ページをお願いいたします。1目社会福祉総務費、19節扶助費のお出かけ支援タクシー利用料金助成費は、昨年度に引き続き、要件を満たす高齢者及び障害者の方へタクシー助成券を月3枚交付するもので、336万1,000円を計上いたしました。

2目後期高齢者医療対策費は、医療療養給付費の増によりまして、前年度と比較して643万2,000円増の2億5,851万9,000円を計上いたしました。

77ページへ参りまして、4目老人福祉費は、生活支援ハウス運営事業の廃止等によりまして、前年度と比較して1,123万9,000円減の1,101万5,000円となりました。12節委託料の高齢者入浴サービス助成費は、老人憩いの湯の廃止に伴い、高齢者の入浴サービス事業を拡充することとし、公衆浴場の利用料450円について、町が年48回分を負担するもので、前年度と比較して174万円増の216万円を計上いたしました。

5目老人福祉センター費は、施設の利用廃止により、前年度と比較し257万6,000円減の128万1,000円を計上いたしました。

78ページをお願いします。下段の7目障害福祉対策費は、前年度と比較して4,609万1,000円増の5億6,884万1,000円となりました。

79ページに参りまして、19節扶助費は、令和6年度の報酬改定等による障害福祉サービス費等の増によりまして、前年度と比較して4,799万2,000円増の5億4,668万7,000円となりました。下段の難聴者補聴器購入費は、19歳以上の軽度・中等度難聴者を対象に、1人5万円を上限に補聴器の購

入費用を助成する新規事業で、25万円を計上いたしました。

80ページを省略しまして、81ページをお願いします。下段の2項児童福祉費は、総額6億7,460万9,000円で、前年度と比較して6,971万8,000円の増であります。

1目児童福祉総務費は、前年度と比較して1,118万9,000円減の3,484万2,000円となりました。減となった主な要因は、子ども・子育て支援事業計画策定業務の皆減によるものでございます。

82ページをお願いいたします。18節負担金補助及び交付金の小学校入学祝金310万円と中学校入学祝金495万円は、小中学校の入学時にそれぞれ5万円のお祝金を支給する町独自の事業でございます。妊婦支援給付金の妊娠時200万円と出産時400万円は、国の交付金を活用して実施するものですが、妊娠時に5万円、そして出産時には国の5万円に町独自の5万円を上乗せして10万円を支給いたします。

2目児童保育費は、前年度と比較して4,467万8,000円増の5億1,096万3,000円となりました。主に児童手当費の増によるものであります。

83ページに参りまして、19節扶助費の教育・保育給付費は、幼稚園や保育所、広域の認定こども園の運営に要する経費で3億2,034万2,000円となりました。なお、保育料は、これまで3歳児以降は国の事業により無償化されておりましたけれども、昨年、令和6年10月から町独自の取組として、ゼロ歳から2歳児の無償化を実施し、町内の全ての園児の保育所利用料を無償化しております。児童手当は6,102万円増の1億6,926万円を計上いたしましたが、これは令和6年10月からの制度改正に伴う増額になります。

84ページをお願いいたします。4目すこやか医療費は、前年度と比較して197万8,000円増の総額1,363万1,000円を計上いたしました。ひとり親家庭に対し医療費を助成するもので、令和6年10月から所得制限を撤廃しております。

5目乳幼児医療費給付事業費は、小学校就学前の乳幼児の医療費を助成するもので、前年度と比較して181万6,000円増の総額1,369万2,000円を計上いたしました。

6目子ども医療費給付事業費は、前年度と比較して1,908万3,000円増の総額3,146万7,000円となりました。令和6年10月から所得制限を撤廃するとともに、対象を小学生から高校生まで拡大したことによるものです。

85ページに参りまして、8目母子福祉費は691万6,000円増の1,509万円を計上いたしました。主に子育て応援ステーションふわふわに係るものでございます。1節報酬の非常勤助産師は、これまでの1名から2名体制とする予定であることから、前年度と比較して230万1,000円増の424万1,000円を計上いたしました。

86ページをお願いします。12節委託料と13節使用料及び賃借料は、妊婦等包括相談支援アプリに係る経費を計上いたしました。これは、スマートフォンなどで24時間いつでも医師に相談できる環

境を構築するものであります。

9目児童館建設事業費は、統合小学校と併せて新築予定の児童館に係るもので、令和7年度は新築工事設計業務など総額1,007万7,000円を計上いたしました。

以上が3款民生費であります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 3款民生費について質疑を行います。ページ数を言ってから質疑願います。質疑ありませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 76ページの最初のお出かけ支援タクシーの利用料金の助成費について質問します。

昨年度よりも減額になっておりますが、町民の足の確保のために1回当たりの金額を増やすとか、月3枚を増やすとかという検討はされましたでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えいたします。

お出かけ支援タクシーにつきましては、お一人当たり月3枚の助成をしておりますけれども、利用率については、ここ数年ずっとなのですが、大体6割から7割の利用率になっております。皆さん、いざという時のために大事に取っておく方もいらっしゃるのかなと思うのですが、利用率や、あと現在のタクシーの状況などを見まして、若干調整させていただいております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 同じくお出かけ支援タクシーのことについてお伺いします。

どういった方が対象になるかという詳しいところはちょっと記憶が定かではないのですが、家族がいらっしゃる方は家族に送迎してもらってくださいと言われたことがあるという高齢の方からお話を聞きましたが、家族がいる方は対象にならないのですか。ちょっとその辺教えていただきたいのですが。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えいたします。

お出かけ支援タクシーの事業につきましては、低所得の方で、あとはおひとり暮らしであったり、障害がある方で、やはり送迎の支援がない方という形でさせていただいております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） その高齢の方から言われたのが、家族はいるのだけれども、出かけたときにその家族は仕事に出ていて家にいないのだという話をされまして、確かにそうなると送迎でき

る方がいないなということで、これについて今後検討していただけないものか、ちょっとお伺いしたいのですが。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） そのようなお声はいただいております。また、あるいはタクシーも、皆さん受診される時などは、朝一番に手配をしたいというふうなことで、どうしても早い時間に受診をしたいという方が多いと思います。そこで一定の時間だけタクシーの配車ができない状態だとかが続いておりまして、受診の時間やお出かけする時間をずらしていただくなどのお願いをしているところです。家族の方もいらっしゃる時間に調整をつけていただけて送迎をしていただくとか、ご協力をお願いしているところです。しかしながら、この件については今後も検討を続けていきたいと思っております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） なかなか支援する側も難しい部分があるのかなと、今答弁を聞いていて思いました。これを解消できるのがデマンド交通というところに行き着くのかなと思いますので、課長からも職員の皆さんに、こういうのにも対応できるからということで声がけしていただければなと思いますので、よろしくお願いします。要望です。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 77ページです。4目老人福祉費の18節、補助金です。老人クラブ連合会の補助金47万5,000円とあるのですけれども、これは町連合会で6月に50周年記念行事が行われるようなのですけれども、この補助金も含まれた金額ですか。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えいたします。

老人クラブ連合会の50周年記念の式典の事業を令和7年度に開催されるということをお伺いしております。例年の補助金に加算をして計上しております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 幾ら加算されますか。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） 20万円でございます。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 今老人クラブ連合会もお金がないということで、これから連合会の役員方、こういう方々が協賛金をもらいに動かなければいけないということなのです。町長、これもうちよ

っと金額の増額はできないのですか。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） 私のほうからお答えいたします。

50周年記念の補助金につきましては、事務局である社会福祉協議会と協議をしまして、この金額になりました。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸君、もう3回の質問ですが、1回だけ特別に許可します。

○3番（木戸忠勝君） 社会福祉協議会と協議して決めたということなのだけれども、私が聞いている範囲ではそうではないみたいなのだけれども、予算がないから記念誌発行と写真1枚で終わらだそうなのです。記念品も何もないということなものだから、もうちょっと補助の増額を検討していただきたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 8番、中谷謙一君。

○8番（中谷謙一君） 同じく老人福祉費の中の関連なのですが、老人クラブ連合会の行事にバスの送迎で条件がついて、バスが出せるときと出せないときがあるのですが、これは老人クラブの活動に関しては、ある程度無条件という言い方はあれなのですが、バスの送迎を出すようにしていただきたいと思うのですが、その辺はいかがでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） お答えします。

申請をいただいた分では、町のバスを活用できる範囲では対応していると思っておりました。

○議長（岡山義廣君） 8番、中谷謙一君。

○8番（中谷謙一君） 使用目的が研修だと出す、レクリエーションだと出さないとか、そういうふうな分け方で、使えない時が実際あるのです。皆さんもう免許も返納して、ほとんどバスとか徒歩で体育館とか公民館に集まっているような状態なので、できれば行事に関しては全ての行事にバスの送迎を考えていただきたいと思うのですが、

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） 先般申請があったバスの件かもしれないのですが、バスの利用の条件として研修を盛り込むというふうなことで、その申請書が上がった際に研修の項目を少しの間入れていただくことで事務局のある社会福祉協議会側と協議をした経緯があります。それで、まずお貸しできる形で進んでおりましたが、社会福祉協議会のほうで利用人数が少なかったので、社会福祉協議会のワゴン車を出すということで聞いておりました。こちらのほうでは内容にきちんと対応して、できる限りお貸しできる方法で調整をしておりました。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 8番、中谷謙一君。

○8番（中谷謙一君） では、よろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 同じく77ページの老人福祉センター費なのですが、憩いの湯は廃止されて、社協は移転されておるので、私はもう予算に出てこないのかなと思ったのですが、どのように今後建物を利用していく計画なのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） 老人福祉センターにつきましては、来年度から使用はないのですけれども、休館という形で施設は維持していきます。それにつきましては憩いの湯に係る重油や電気代などは一部減額しておりますけれども、施設の維持は続けていきますので、委託料に記載されております保守点検などは継続していきます。

あと、電話料を3万3,000円つけておりますが、何か不測の事態があったときに館内から連絡の手段がなければいけないということで消防署から指導が入りまして、電話料もつけておりました。内容としては、その維持に係る経費を最低限残していく形になりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 6番、戸澤 栄君。

○6番（戸澤 栄君） 82ページの妊婦さんのことなのですが、妊娠時と出産時と2つに分かれています。出産は出産届をすればおのずとこぼれないのでしょうか、妊娠というものはどのように100%把握できるのですか。

○議長（岡山義廣君） 健康づくり課長。

○健康づくり課長（木明 修君） お答えいたします。

まず、妊娠されて妊婦さんが病院に行きますと、妊娠届を出してくださいということで書類が渡されますので、それを持って役場に来ていただくので、漏れなく把握できるかと考えております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 77ページ、先ほどの老人福祉センター費なのですが、施設の維持をしていくという説明がありましたが、維持していく目的と、それから何か活用する見込み、予定があるのかどうかを教えてください。

○議長（岡山義廣君） 介護・福祉課長。

○介護・福祉課長（飯田貴子君） 老人福祉センターは4月から休館するということですので、建物の維持は継続していくということになります。その利活用につきましては、今後検討してまいりますし、現在も検討中でございます。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで3款民生費の質疑を終わります。

機器の調整のために3分ぐらいですか、ちょっと休憩します。

休憩（午前11時18分）

---

再開（午前11時20分）

○議長（岡山義廣君） 再開します。

4款衛生費について、副町長から主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家夫君） 4款衛生費、86ページ下段からになります。衛生費の予算総額は11億645万6,000円となり、前年度と比較して1億475万8,000円の増となりました。

1項保健衛生費は、総額1億6,619万3,000円で、前年度と比較して1,714万9,000円の増となりました。北部上北広域事務組合の清掃費及び病院費に係る負担金の増などが主な要因でございます。

87ページに参りまして、2目予防費には、各種予防接種、健康診査、健康づくり推進事業、さらには自殺予防対策などの経費を計上しております。総額は5,671万8,000円で、前年度と比較して437万6,000円の増となりました。

88ページをお願いいたします。12節委託料の高齢者インフルエンザ予防接種は、前年度と比較して312万2,000円増の615万9,000円を計上いたしました。助成額を1,000円から2,000円に引き上げることとしたためでございます。

89ページに参りまして、3目母子衛生費は、妊婦及び乳幼児の健康診査や保健指導に係るもので、1,112万5,000円を計上いたしました。12節委託料の妊婦健康診査費は、新たに産後健診を実施することから、前年度と比較して30万2,000円増の580万2,000円となりました。

90ページをお願いいたします。4目健康増進センター費は、施設の維持管理に係る経費として、前年度と比較して119万5,000円増の666万3,000円を計上いたしました。玄関前舗装の段差を解消するため、14節工事請負費に誘導路舗装修繕工事101万7,000円を計上いたしました。

5目環境衛生費は、前年度と比較して398万8,000円増の2,662万5,000円を計上いたしました。

91ページに参りまして、18節負担金補助及び交付金、北部上北広域事務組合負担金は、前年度と比較して664万2,000円増の2,574万2,000円になりました。これは火葬場に係る負担金ですが、火葬炉等の施設修繕に要する経費が増となったためであります。

2項清掃費は、総額5億792万1,000円となり、前年度と比較して4,163万8,000円の増となりました。

1目清掃総務費、18節負担金補助及び交付金の北部上北広域事務組合負担金は、クリーン・ペア

はまなすにおいて新たな井戸の掘削を行うことから2,433万3,000円増の2億1,395万円を計上いたしました。

92ページをお願いします。2目塵芥処理費、12節委託料の家庭ごみ収集業務は、前年度と比較して1,235万1,000円増の5,866万1,000円、また資源ごみ回収業務は前年度と比較して696万8,000円増の2,481万2,000円を計上いたしました。これは5年間の長期継続契約を締結しておりまして、令和7年度から新たな契約が開始となりますが、人件費と燃料費等の高騰を踏まえて計上したものでございます。

3目ごみ減量化促進対策事業費、10節需用費の消耗品費は、指定ごみ袋の材質及び仕様の変更に伴いまして、前年度と比較して486万6,000円の減で912万6,000円を計上しております。

4目一般廃棄物最終処分場管理費は、前年度と比較して639万4,000円減の2,444万円となりました。

93ページを飛ばしまして、94ページをお願いします。5目下水対策費は、主に浄化槽設置整備事業費補助金を計上しておりますが、前年度と同額の2,493万円を計上いたしました。

3項1目病院費は、主に公立野辺地病院の負担金ですが、前年度と比較して4,494万8,000円増の4億2,469万3,000円を計上いたしました。児童手当費の増、派遣医師に係る人件費の増、不採算地区中核病院運営経費の増などが主な要因でございます。

以上、4款衛生費でございます。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○議長（岡山義廣君） それでは、4款衛生費について質疑を行います。ページ数を言ってから質疑願います。質疑ありませんか。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 91ページに書いてあります北部上北広域事務組合等の一部事務組合の負担金の件なのですが、この負担金が妥当であるかどうかというのは、どう我々は判断したらいいのか、ちょっと難しく、一部事務組合からの予算要求に対してどのような協議をされているのか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えいたします。

北部上北広域事務組合のほうで3町村の財政、それから総務、町民課ですね、ごみ関係ですので、関係課長を集めまして、まず予算の説明があります。そこでいろいろと話し合い等をさせていただき、それが第1段階です。その後に管理者等の会議のほうに移っていくと。その中では、北部の中ではまた会議をやっているという話を伺っております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 5番、五十嵐勝弘君。

○5番（五十嵐勝弘君） 90ページ、5目の環境衛生費のところの12節委託料に、昨年度まで海岸漂着物等の回収運搬業務とあったと思うのですが、これは皆減という考え方でよろしいでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 町民課長。

○町民課長（富吉卓弥君） ただいまの質問に関しては、県のほうの補助をいただいて実施していましたが、ちょっと事業のほうの見直しをしてほしいという県のほうから要請がありまして、実際に今年度、令和6年度も実施は見直しして、来年度もまだ実施のほうは検討の中ということで実施については予定しておりません。

○議長（岡山義廣君） 5番、五十嵐勝弘君。

○5番（五十嵐勝弘君） たしかこの事業は県の10分の10、ほぼ100%県からお金が出る事業だと思ったのですが、県からお金が出ないと町のほうで予算措置してまでやるつもりはないという考え方でよろしいのでしょうか。町長にお伺いしたいのですが。

○議長（岡山義廣君） 町民課長。

○町民課長（富吉卓弥君） 実際に清掃している場所というのは有戸地域から東側目ノ越地区にかけて、ちょっと人の目につかないところでもあります。年々、実施した関係もあって、実際に採取したトン数、数量のほうはだんだん減ってきておりましたので、その辺を見越しながらちょっと様子を見て、また県のほうに要望しながら実施に向けるなど検討したいと思います。

○議長（岡山義廣君） 5番、五十嵐勝弘君。

○5番（五十嵐勝弘君） やらないとなると、当然たまります。陸地にだけ打ち上げられているうちはいいのしょうけれども、海のほうに漂うようであれば、これは大変景観的なものとか、見栄えとか、あと結構ハングル文字が書かれたようなものも漂着しているような状況もありますので、ぜひとも県のほうにも働きかけをしていただいて、なるべく事業費がつくような形でお願いしていただければなと思います。要望です。

○議長（岡山義廣君） 7番、古林輝信君。

○7番（古林輝信君） 94ページの5目の浄化槽設置整備事業費の詳細をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 町民課長。

○町民課長（富吉卓弥君） 浄化槽の設置整備事業なのですが、一応積算とすると5人槽、7人槽、10人槽というところで単価のほうが変わっていますが、最終的には52基に対して補助を出す計画で予算を組んでおります。

○議長（岡山義廣君） 7番、古林輝信君。

○7番（古林輝信君） 詳細をお願いしますけれども、5人槽、10人槽、7人槽、これは何台になりますか。

○議長（岡山義廣君） 町民課長。

○町民課長（富吉卓弥君） 5人槽については30基、7人槽については20基、10人槽については2基を予定しております。

○議長（岡山義廣君） 7番、古林輝信君。

○7番（古林輝信君） ありがとうございます。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 92ページのごみ減量化促進対策事業費に関してなのですが、今ペットボトルの回収をされているのですが、昨年度は回収量がどれくらいであるかという調査の段階だと思っておりますが、今年度からはリサイクルのほうに移行されていく計画なのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 町民課長。

○町民課長（富吉卓弥君） お答えいたします。

今年度に入りまして、10月までについての数量というのは2万2,000キロほど回収されております。割合については85.73ということで、年々回収率のほうは上がってきております。ただ、その処分については、まだリサイクル業者のほうへ、そういうふうな段階にまだ達していない状況です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 91ページです。先ほど大湊議員も質問されたことにちょっと関連するのですが、北部上北広域事務組合と一部事務組合に支出する予算についてですが、中身を知らないまま予算の可否を判断するということは非常に議員としては判断に苦しむところでありますので、今回の予算について、今からというわけにはいかないのしょうけれども、今後一部事務組合の予算要求についてなど、全員協議会を開くなどして事前説明などの対策を求めたいと思っておりますが、これについてご検討いただくよう強く要請いたします。

○議長（岡山義廣君） ほかがございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで4款衛生費の質疑を終わります。

続いて、5款労働費について、副町長から主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家和夫君） それでは、95ページ、上段からの5款労働費ですが、訂正がございます。本日議案の訂正でお配りしておりましたけれども、14節工事請負費に「青少年ホーム外壁等改修工事」とありますが、正しくは工事名、「青少年ホーム舗装工事」に訂正をお願いいたします。申し訳ございませんでした。

それでは、5款労働費ですが、労働費の予算総額は、前年度並みの837万4,000円となりました。ただいま訂正しました1項1目14節工事請負費の青少年ホーム舗装工事は、駐車場スペースに数か所へこみがあることから舗装するもので、60万2,000円を計上いたしました。

以上が5款労働費でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 5款労働費について質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで5款労働費を終わります。

ちょっと昼前ですけれども、休憩に入ります。

休憩（午前11時37分）

---

再開（午後 1時28分）

○議長（岡山義廣君） 再開します。

6款農林水産業費について、副町長から主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家夫君） そうすれば、6款農林水産業費は96ページからになります。

農林水産業費の予算の総額は1億5,006万9,000円で、前年度と比較して1,221万9,000円の減額となりました。

97ページに参りまして、下段の3目農業振興費は、前年度並みの1,849万4,000円となりました。

98ページをお願いいたします。18節負担金補助及び交付金の一番下の新規就農者経営支援助成金400万円は、認定新規就農者に対して、国の交付金等が終了した後も、一定期間町独自に助成金を交付することで定着を図るものでございます。対象者の増が見込まれますことから、前年度と比較して220万円の増となりました。

少し飛ばしまして、101ページをお願いいたします。2項林業費、1目林業総務費の18節負担金補助及び交付金では、新たに民有林野造林事業費補助金300万円を創設しました。これは、民有林の人工造林及び下刈りに要する経費を補助するものとなります。

2目柴崎地区健康レクリエーション施設管理費は、前年度と比較して380万2,000円増の1,730万8,000円となりました。

102ページをお願いします。12節の委託料では、公益財団法人日本さくらの会から寄贈される桜50本を柴崎牧場に植樹するため、桜植樹業務155万1,000円を計上いたしました。また、近年のキャンプブームに対応して、オートキャンプ敷造成工事設計業務323万4,000円を計上いたしました。

3項水産業費、1目水産総務費は、前年度と比較して2,531万4,000円減の2,383万5,000円となりました。主に産直施設駐車場等整備工事費の皆減によるものでございます。

103ページに参りまして、18節負担金補助及び交付金の地まきホタテ稚貝放流事業費補助金は、稚貝等の放流に対する補助を継続するもので、500万円を計上いたしました。ホタテ養殖漁業者支援事業費570万円は、稚貝を確保するための採苗器の購入費用を補助するものであります。

2目漁港・漁場整備費は4,153万1,000円で、前年度と比較して959万4,000円の増となりました。104ページをお願いします。18節負担金補助及び交付金の水産生産基盤整備事業負担金、これは県営事業の負担金で、前年度と比較して1,000万円増の4,000万円を計上いたしました。

以上が6款農林水産業費についてでございます。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○議長（岡山義廣君） 6款農林水産業費について質疑を行います。ページ数を言ってから質疑願います。質疑ありませんか。

3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 98ページです。3目18節、ここに野辺地町農業振興事業とあるのですけれども、昨年より150万円減っているのだけれども、減らした理由というのはどういう理由かと、あと農作業機械修繕費支援事業、これは昨年何件の申込みがあったのかお知らせください。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

農業振興事業費、昨年から大幅に減になった理由でございますが、災害がなかったことによって事業費を減らさせていただきました。

そして、農作業機械修繕費支援事業でございますが、たしか4件ほどの申請があったと記憶しております。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） この機械の修理費というのは1件当たり幾らの金額なのですか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

補助対象経費の2分の1以内で10万円を上限としております。

○議長（岡山義廣君） 2番、高沢陽子君。

○2番（高沢陽子君） 102ページの2項林業費、柴崎地区健康レクリエーション施設の関係、オートキャンプ場のことを先ほどご説明いただきましたが、これから造成工事の設計を始めるということですので、まだこれからということだと思えますけれども、概略的なものでいいので、どういう形にして、場所をどこにして、オープンはいつ頃かというのを願いたします。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

オートキャンプ敷造成工事設計業務でございますが、拓心館のほうに向かいまして左端にバーベキューハウスございますが、その左隣にちょっと三角地点があるのですけれども、前に木の根が残っていた部分を伐根しまして、結構な面積がございますので、あの部分をオートキャンプ場にしたらどうかということ design 業務を要求いたしました。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 100ページの7目18節、農地等改善事業とあるのですけれども、これは排水事業対策ですか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

これは、農地の排水路の整備として予算を組んでおります。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） これは、ちなみに1基当たり幾らの補助金額なのか。それと、昨年何件申込みがあったのかお知らせください。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

50万円を上限に、3団体予定しております。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） これは150万円ということは、農家1件当たり50万円だから、大体どれ位直せるのか。排水が悪いと、良質のこかぶが取れないところなのです。これもうちちょっと補助の増額を検討していただきたいのですけれども、どういうものか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

この事業は、大体排水路メートル1万円を交付の金額としておりまして、1団体当たり50メートルの予定としております。

○議長（岡山義廣君） 同じ質問だったら4回目なので、遠慮していただきたいと思います。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 98ページの補助金のところで有害鳥獣捕獲奨励金というのが新しい事業だと思うのですけれども、この詳細説明をお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） これは国の金額を基準にしておりまして、熊を駆除した場合8,000円でございますが、猟友会と相談した結果、熊に関しては危険があるということで、1頭当たり1万6,000円、そして猿、イノシシ、鹿に対しましては1頭当たり8,000円、それから鳥類に関しましては1羽当たり1,000円を予定しております。

○議長（岡山義廣君） 7番、古林輝信君。

○7番（古林輝信君） 103ページの水産業費、18節の補助金の地まきホタテ稚貝放流事業について、ここ二、三年は何トンぐらい放流しているか。また、昨年というか、3月いっぱいでしょうけれ

ども、幾らぐらい水揚げがされているか、その辺をお聞きしたい。子細な説明をお願いします。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） 大変申し訳ございません。資料が今手元にございませんで、後ほど回答いたします。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 98ページです。鳥獣被害対策実施隊後継者育成事業とあります。これの今時点での実績と、あと今後の予定、見通しなどを教えてください。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

この後継者育成事業でございますが、令和6年度に初めて予算要求して、ついたのですけれども、ちょっと試験日の申込みが7月が最終でございまして、去年の回答、答弁であると、役場職員を先にとこのことを私、話しましたけれども、ちょうど7月がイルミネーションとかそれらで大変忙しくて、この試験の日程を確認するのを失念しておりまして、昨年は一人も取ることができませんでした。農家の方にも一応声をかけております。山のほうにある農家さんとか、去年もちょっと声かけたのですけれども、はっきり回答がもらえませんでしたので、新年度も引き続きご協力願える方を探していきたいというふうに思っております。

○議長（岡山義廣君） 5番、五十嵐勝弘君。

○5番（五十嵐勝弘君） 103ページ、水産総務費の18節負担金補助及び交付金、昨年度は漁業災害経営資金利子補給費142万6,000円計上していたと思うのですが、今年は皆減されていますけれども、実績等をお知らせ願います。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

経営再建資金の減に関しましては、一人も申請がございませんでした。今年度もないかというふうに確認しましたが、生活資金のほうの借入れはあるのですけれども、災害経営資金のほうは借りる方はいないというふうなことでしたので、今年は予算要求しませんでした。

○議長（岡山義廣君） 5番、五十嵐勝弘君。

○5番（五十嵐勝弘君） 度重なる高水温ということで、漁業者は非常に経営が圧迫している状況にあらうかと思えます。今年度も高水温が続くようであれば、またこのような事業の造成をするという考え方でよろしいでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） それでよろしいです。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 104ページです。水産生産基盤整備事業4,000万円計上されておりますが、この内容をちょっと詳しく説明願います。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

この4,000万円の内訳でございますが、7年度から斜路の前出し工事に入ります。その負担金になります。

○議長（岡山義廣君） 6番、戸澤 栄君。

○6番（戸澤 栄君） 101ページの民有林の事業、これ面積と金額に対しての上限を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

予定している面積でございますが、16ヘクタールを予定しております。補助は7%を予定しています。これは、国、県の補助金を使って、それで賄えないということで事業費の7%をかさ上げして補助する事業になります。国、県の補助金プラス町でそれに7%分をかさ上げして林業者の負担を減らすという事業です。

○議長（岡山義廣君） 6番、戸澤 栄君。

○6番（戸澤 栄君） 16ヘクタールということは、1人でもこれだけの要請があればいいということですか。どうなのでしょう、その辺の考え方として。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

この補助金は、森林組合とか林業者、または林業者が組織する団体が実施するものになります。

○6番（戸澤 栄君） だから、申込者が1人でも制限がないのか。

○産業振興課長（上野義孝君） 補助対象になったものに関しては該当になります。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 102ページです。先ほど出たのですけれども、オートキャンプ場の計画をしているのですけれども、大体何台分を想定しての造成を考えているのかと、それからやり方によっては新たな収入につながるのかなというところも考えているところですが、実際にオートキャンプ場ができた場合には利用料等を徴収するということも考慮しているのかどうかお聞きします。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

まず、台数でございますが、大体3台分を予定しております。ただ、利用料等に関しては、まだオートキャンプ場にするという、どうかなというこの段階ですので、これから検討してまいりたい

と思います。

○議長（岡山義廣君） 2番、高沢陽子君。

○2番（高沢陽子君） 101ページ、林業費、1目林業総務費の中の負担金補助及び交付金ですけれども、民有林野造林事業費についてちょっとだけ説明ありました。この事業の内容を含め、どんなものなのでしょうか。もうちょっと詳しく説明願います。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

間伐業務と下刈業務になります。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 100ページの森林災害保険料にちょっと関連してお伺いします。

昨今、大船渡とか山火事が発生しておりますけれども、山火事、また森林火災等の予防策というのはどういう対策を取っているのかお伺いします。

○議長（岡山義廣君） 防災管財課長。

○防災管財課長（西館峰夫君） 消防業務に関わる問題なので、こちらからお答えします。

春とか秋に火災予防運動などをしております。その中でも入山の際の注意などを呼びかけていて、これは広報とか防災無線、その他のメディアなどを通じて行っております。その中で、まず今回のような外国でもありましたけれども、国内でもこのような火災が発生しているので、令和7年の春からは、もっと詳しく伝えて啓発していくことになると思います。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 何を申したいかという、要は火災が起こってから中に入っていけなければ消火活動ができないということで、ある程度入っていけるような道路の整備とかというのにも必要になるのかなというふうに思ったものですから、そういったところも今後検討していくのかどうかというところも含めて、もう一度お願いしたいのですが。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

山火事のために入っていく道路がないというお話でございますが、森林所有者がきちんと自分の山を管理する義務があります。間伐なり森林組合等をお願いすると作業路というものを森林組合のほうで造ってくれますので、森林の間伐とか整備が進んでいくと必然的に作業道もどんどん延びていって、いざのときには消防車等も入っていけるのかなというふうに思います。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで6款農林水産業費を終わります。

7 款商工費について、副町長から主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家夫君） 104ページ中段からの7 款商工費についてご説明申し上げます。

商工費の予算総額は1 億1,141万8,000円となり、前年度と比較して2,600万2,000円の減となりました。

105ページに参りまして、1 項1 目商工総務費、18節負担金補助及び交付金の町商工会地域総合振興事業は、町商工会への補助であります。前年度と比較して100万円増額し300万円としました。また、商工会花火大会事業へも100万円を計上いたしました。販売促進事業300万円は、令和5 年度から継続事業で、物価高騰などの影響で利用客が落ち込んでいる事業者に対し、P R費用や店舗の改修費用などを補助するもので、1 店舗当たり最大40万円の補助を行うものであります。

106ページをお願いいたします。2 目観光費、18節負担金補助及び交付金ののへじイルミネーション実行委員会補助金は、イルミネーション装飾プラン作成などに係る経費分を増額し、150万円増の600万円を計上いたしました。祇園まつり持続支援事業は、令和5 年度からの継続事業で、各祭典部における山車の製作費用などを補助するもので、550万円を計上いたしました。1 祭典部当たり50万円となります。

107ページに参りまして、スキー場費は、あったかハウスのもろもろの修繕が完了したことなどによりまして、総額で389万2,000円減の384万円になりました。

下段の4 目、海水浴場費は、マリンハウスの南側階段などの改修が終了したことから、総額で383万9,000円減の490万7,000円になりました。

108ページをお願いいたします。5 目愛宕公園費、12節委託料の桜植樹業務155万1,000円は、先ほどの柴崎牧場と同様に日本さくらの会から寄贈された桜50本を愛宕公園に植樹するものであります。

109ページに参りまして、7 目観光物産P Rセンター費には、施設の管理運営に必要な費用を計上し、前年度と比較して169万8,000円減の1,385万4,000円となりました。これは、L E D照明工事等の完了によるものでございます。

以上が7 款商工費についてでございます。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 7 款商工費について質疑を行います。ページ数を言ってから質疑をお願いします。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 106ページの18節負担金補助及び交付金についてです。令和5 年度までであったスキー場管理運営協議会への負担金がなくなりましたけれども、スキー場について協議を続けていくと伺っていたと記憶しているのですが、スキー場管理運営協議会への負担金がなくなった理由

をご説明願います。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

今まではスキー場開きとか、そういうときに支出しておりましたが、今はそういう支出するものがないので、協議会の負担金は取らないというふうに決定いたしました。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 同じく18節の町観光協会への補助金についてお伺いします。

令和5年度の決算額で1,497万5,000円だったのですけれども、そこから400万円ほど増額されていると。令和5年、令和6年の予算では1,778万4,000円ということで、令和5年の決算と比較しても400万円近くの増額で、令和6年度からの予算ベースでも増額されているのですが、この増額の理由を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

主なものは人件費でございます。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 同じく18節負担金補助及び交付金のところですが、のへじ祇園まつり持続支援事業に550万円で、一方でのへじイルミネーション実行委員会には600万円ということで、祇園まつりのほうがウエートが低いというふうに金額を見れば感じるのですが、どうなのでしょう。町としての事業に対するウエートというか、その辺はどのようにお考えなのか、お聞かせ願います。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

金額では祇園まつりのほうが少ないということでもありますけれども、祇園まつりを軽視しているわけではございません。これだけご理解ください。イルミネーションのほうには、要は毎年LEDの電球とか、ああいうのは2年ぐらいすると切れてしまっているものが多いので、そちらのほうの購入費が結構かかるものですから、この金額になっております。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 107ページです。3目スキー場費の1節、非常勤労務員とあるのですけれども、この業務内容について、どういう業務をしているのかお知らせください。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） 非常勤労務員の仕事ですけれども、日中は職員がスキーの貸出しとか、そういう形の業務をやっております。夜はナイターのときですけれども、職員を

配置しまして、スキーの貸出し等を主にやっております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） ちょっと今の答弁を聞いてお聞きしたいのですが、それは来年度も継続して行われる予定の事業というか業務内容ですか。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） 同じく考えております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 今の説明、業務内容というのは、要はノルディックのほうということ、あったかハウスの関連という解釈でよろしいですか。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） すみません。ちょっと言葉足らずのところがありましたけれども、基本的にはあったかハウスの管理も含めておりますので、ご理解ください。

○議長（岡山義廣君） 5番、五十嵐勝弘君。

○5番（五十嵐勝弘君） 106ページです。観光費の12節委託料の地域おこし協力隊コーディネーター業務、昨年度1,078万7,000円の予算を計上しておりましたが、ほぼ半減の状態ですが、何かこれ理由がございますか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） お答えいたします。

昨年度は2人分を取っておりましたが、新年度は横井さんが協力隊を終了ということで、新規の1名分でこの金額を要求しております。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 109ページの地域資源活用費なのですが、現在みちのく丸の老朽具合を心配しておりますが、何か調査されていますでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） 今はしておりません。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 危険性を大変心配しておるのですが、その辺りはどう考えておるのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） しておりませんというのはちょっとあれでしたけれども、定期的にうちの職員が行って前回から割れが広がっていないかとか、そういうのは目視で確認しておりま

す。冬囲い等もございますので、そのときには業者さんのほうに底板の部分は見てもらっております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 先ほどの観光協会の増額分の質問に対して、主に人件費ということでご説明いただきましたが、令和5年度から比較すると400万円近く増額されているのですけれども、これは1人増員したとかというぐらいの規模なのかなと思うのですが、主に人件費の増額というところで、その辺りをちょっと説明いただきたいのですが。

○議長（岡山義廣君） 今11番の質問に対してちょっと時間かかりますので、保留をしたいと思いますので。

10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 105ページののへじ北前応援大使なのですが、関係人口創出を目的に全国へさらに大使を増やすというお考えはないでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） 応援大使の任期が2年でございますので、任期が切れるときにその辺検討したいと思います。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで7款商工費の質疑を終わります。

8款土木費について、副町長から主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家夫君） 110ページ下段からの8款土木費についてご説明申し上げます。

土木費の予算額は4億6,206万4,000円で、前年度と比較して3,730万6,000円の増となりました。

111ページを省略しまして、112ページをお願いいたします。2項1目道路橋梁総務費、12節委託料の道路台帳デジタル化業務は、現在紙で保管している道路台帳をデジタル化するもので、230万7,000円を計上いたしました。

2目道路新設改良費、10節需用費の修繕料は、道路や側溝等の小破修理などに対応するもので、750万円を計上いたしました。12節委託料には、橋梁点検において早期の補修が指摘されている中渡橋の補修設計業務として588万5,000円を計上いたしました。14節工事請負費には、町道改良工事のため、9,071万8,000円を計上いたしました。

113ページに参りまして、3目除雪対策費は、前年度と比較して1,348万1,000円減の1億3,266万円となりました。これは、ホイールローダー購入事業の完了による減が主な要因でございます。10節需用費の修繕料は、除雪重機の老朽化により修繕箇所の増加が予想されることから、前年度と比較

して100万円増の900万円を計上いたしました。12節委託料の除排雪作業は9,009万3,000円を計上いたしました。13節使用料及び賃借料の除排雪機械は、主に排雪のための重機の借上料で、2,320万7,000円を計上いたしました。

下段の3項河川費、1目河川管理費は、前年度と比較して4,585万6,000円増の6,015万7,000円を計上いたしました。

114ページをお願いします。14節工事請負費には、御手洗瀬川改修工事4,500万円のほか、泥などが堆積し排水があふれている大月平地区等の水路しゅんせつ工事を行うため1,045万円を計上いたしました。

115ページに参りまして、一番下の5項都市計画費、2目公園管理費、14節工事請負費の中道ふれあい公園遊具更新工事は、コミュニティ助成事業を活用して、老朽化した遊具を更新するもので、1,424万5,000円を計上いたしました。なお、助成事業が採択されない場合は見送ることとしております。

116ページをお願いします。6項住宅費、1目住宅管理費は、老朽化が進んでおります駅前団地B棟の修繕工事など、合わせまして1,410万4,000円を計上いたしました。

117ページに参りまして、中段の7項1目急傾斜地対策費、18節負担金補助及び交付金の急傾斜地対策事業負担金1,000万円は、前年度に引き続き、上小中野地区を予定しております。事業主体は県で、町の負担割合が20%であります。

以上が8款土木費でございます。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 8款土木費について質疑を行います。ページ数を言ってから質疑願います。

9番、野坂 充君。

○9番（野坂 充君） 114ページ、工事請負費の大月平地区外水路しゅんせつ工事とあるのですが、この大月平地区というのはJRの大湊線の脇の水路、あれは入っているかどうか教えてください。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） 大月平地区水路しゅんせつ工事ではありますが、こちらはJR線の鉄道の水路、そちらのほうの工事をやるということになります。

○議長（岡山義廣君） 3番、木戸忠勝君。

○3番（木戸忠勝君） 113ページです。3目除雪対策費の事業で、これ今年度は降雪量が多くなって予定額がオーバーすると思うのですが、そのオーバーした分の金額というのは県か国からの補助の対象になるのですか。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） 質問にお答えします。

現在であれば、県の補助とかはない状態であります。ただ、豪雪対策の関係で特別交付税で措置されます。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 112ページの13節の積算システムなのですが、昨年度の予算のほぼ倍になっておりますが、その理由を教えてください。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） 新年度の積算システムの金額については、システムの更新時期というのが主な理由となります。昨年度、県のほうから共同利用の関係で照会がありまして、そちらの金額よりこちらで見積もった額のほうが安かったということで、現在の金額で出したという形になっております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 113ページです。3目除雪対策費の12節委託料、歩道除雪作業に200万円計上されておりますが、この予算である程度町民の方から苦情なりが来ないぐらい歩道の除雪というのは対策できるものですか。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） 質問にお答えします。

歩道除雪については、歩道の形状にもよりますので、限界があります。現在の段階では、苦情がないわけではないのですが、できる範囲で通学路等の除雪に頑張っております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） ありがとうございます。ぜひ困っているところ、様々声が聞こえていますので、対応できないところと線引きをしないで、極力対応できるように、それで予算が足りないのであればもっと予算をつけるなりという検討も今後お願いしたいと思います。

その下、使用料及び賃借料で除排雪機械の賃借料ということでありましたけれども、これに2,300万円計上ということで、これは仮に購入するとなれば幾らぐらいする車両を借り上げているのですか。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） 機械のほうを購入したとしても、運転手がおりませんので、どうしても借り上げという対応になると思います。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） ということは、オペレーターもつけての借り上げという解釈ですか。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） 質問にお答えします。

主に町のロータリーで排雪した雪を積むためのダンプを借り上げるような形が主なものになっております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） それであれば分かるのですが、もしオペツキの借り上げとなれば、委託料に入るのではないかなとちょっと思ったのですけれども、ありがとうございます。

その下、除雪協力会県外視察研修費とあります。除雪協力会のメンバーを教えてもらうことは可能ですか。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） メンバー、業者のリストについてはちょっと手元に資料がなくて申し訳ありません。後でご報告いたします。

○議長（岡山義廣君） では、後ほど報告してください。いいですか。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） はい。

○議長（岡山義廣君） 後ほど報告します。

8番、中谷謙一君。

○8番（中谷謙一君） 112ページの道路橋梁総務費の中に含まれると思うのですけれども、道路の修理とか修繕とかの中に白線とか、そういうのも含まれるのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） こちらの工事のほうには区画線については含まれておりません。

○議長（岡山義廣君） 8番、中谷謙一君。

○8番（中谷謙一君） それは、町のほうの仕事ではないということなのですか。

○議長（岡山義廣君） 防災管財課長。

○防災管財課長（西館峰夫君） お答えいたします。

2款の総務費のほうの交通安全対策費の工事費にありました区画線の工事のほうで行います。道路のほうは、新設した場合に、新しい道路の場合は建設水道課のほうで引いてくれる、あるいは県の道路は県で引くのですけれども、それ以外に消えてきたところはそちらの予算で防災管財課で引いています。

○議長（岡山義廣君） 7番、古林輝信君。

○7番（古林輝信君） 8款の113ページの3目の7節、土地借用謝礼、これは堆積場所の分ですか。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） 堆積場所のほうをご協力いただける方への謝礼となっております。

○議長（岡山義廣君） 7番、古林輝信君。

○7番（古林輝信君） 町の堆積する場所が何か所で、また個人の堆積する場所は何か所ぐらいか。大体1か所当たりでどれぐらいの謝礼を、どれぐらいのものを差し上げているかお伺いいたします。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） これで100件を切るぐらいの件数にはなるのですが、あと町内の方に対する謝礼については、ごみ袋を差し上げておりますが、町外の方についてはタオルとか、その年によって、ちょっと物を変えて謝礼として差し上げております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 今の古林議員の質問の答弁でちょっとびっくりしたのですけれども、100件に近いぐらいということで、謝礼を渡す対象がそれぐらいあるということだと解釈したのですが、この費用が5万3,000円で100件に近いということは500円程度ということですか。

○議長（岡山義廣君） 建設水道課長。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） 100件近い、正確な数字ではちょっと私今記憶では七十何件だったというふうに思っております。ですから、金額にすればそのぐらいの金額にはなるかなと思います。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 8款土木費を終わります。

先ほど保留の件は、できましたか。

まとめてやってください。古林議員と大湊議員が2件ほど保留がありますので、まとめてその辺を答弁するようにお願いしたいと思います。

暫時休憩します。

休憩（午後 2時23分）

---

再開（午後 2時39分）

○議長（岡山義廣君） 再開します。

古林議員と赤垣議員の保留が2件あります。産業振興課長より答弁をお願いします。

産業振興課長。

○産業振興課長（上野義孝君） 先に古林議員の質問についてお答えいたします。

稚貝と半成貝、どのぐらいの枚数を放流したのかというご質問でございますが、令和5年放流で、半成貝に関しましては52万5,000枚、それから稚貝放流に関しましては25万3,000枚、令和5年度です。そして、令和6年度でございますが、半成貝38万2,000枚、そして稚貝放流113万3,000枚を放流しております。そして、水揚げでございますが、キロ数でよろしかったですか。

〔「はい」の声あり〕

○産業振興課長（上野義孝君） 令和5年度、養殖ホタテでございますが、2,239トン、地まきホタテは40トン、令和4年度でございますが、養殖ホタテが1,751トン、地まきホタテが88トン。

以上でございます。

そして、引き続きまして、赤垣議員のご質問にお答えいたします。

令和5年度の決算と比べますと、事業費に関しましては150万円、これは各事業の、大きいのが駆伝でICチップを装着して競技する予定でしたけれども、そのICチップのやつをできなかったということで、それらも含めまして150万円ほど令和5年度に比べて増えております。

あとは、人件費につきましては、職員分と、それからおもてなしスタッフ分の人件費を合わせまして、200万円ほど増えております。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 続いて、赤垣議員の保留の答弁が1件あります。

建設水道課長。それと、答弁の訂正もどうぞ。

○建設水道課長（五十嵐洋介君） 先ほどの赤垣議員に対しての答弁漏れがありますので、こちらで回答いたします。

野辺地町の除雪協力会の会員になりますが、業者の名称については控えさせていただきたいと思っております。全部で14者の方々が会員になっておられます。

あと、古林議員の質問に対しての訂正があります。堆積場所についてお答えいたします。

先ほど七十何件堆積場所というふうに回答しましたが、正確には町内の方が215か所、あと町外の方が63か所、合計で278か所の堆積場所をお借りしております。町内の方については、粗品としてごみ袋のほうを謝礼としてお渡ししております。町外の方については、500円から600円ぐらいの粗品をお渡ししているという状態です。

以上であります。

〔「議長」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 質問ですか。

〔「今の答弁に対して質問は駄目ですか」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 質疑が終わっておりますので、次に移らせていただきます。

9 款消防費について、副町長から主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家和夫君） それでは、117ページ下段、9 款消防費。消防費の予算総額は 8 億188万6,000円となりました。前年度と比較して 1 億5,680万8,000円の増であります。

1 項 1 目常備消防費の18節負担金補助及び交付金は、北部上北広域事務組合の消防費負担金であります。前年度と比較して 1 億286万2,000円増の 6 億7,662万円となりました。これは、令和 7 年度、救助工作車の更新を行うものでございます。

118ページをお願いします。2 目非常備消防費は、消防団の活動費や団所属の消防車両をはじめとした施設の維持費であります。前年度と比較して5,394万6,000円増の 1 億2,526万6,000円を計上いたしました。

119ページに参りまして、12節委託料には馬門地区の第 4 分団屯所移転新築工事に係る費用など 281万円を計上いたしました。

14節工事請負費は、消火栓の取替移設工事費として、それぞれ165万円、それとあと第 4 分団屯所移転新築工事の工事費として5,038万円を計上いたしました。

17節備品購入費は、第 2 分団のポンプ車両購入費として3,287万5,000円、経年劣化が進んでいる消防団旗購入費として125万7,000円を計上いたしました。

9 款消防費については、以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 9 款消防費について質疑を行います。ページ数を言ってから質疑願います。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで9 款消防費を終わります。

次に、10款教育費について、副町長から主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家和夫君） 120ページ中段からの10款教育費についてであります。教育費の予算総額は 8 億1,465万7,000円で、前年度と比較して3,433万2,000円の増であります。

1 枚めくって122ページをお願いいたします。1 項 2 目13節使用料及び賃借料の校務支援システム384万8,000円は、業務改善及び教員の働き方改革に対応するものであります。

123ページに参りまして、18節負担金補助及び交付金の一番下にあります野辺地高等学校魅力化推進事業費補助金は、野辺地高等学校が進学先として選ばれるよう、魅力のある高校となるように各種資格の取得費、制服購入費、そして通学費用の一部を補助するもので、189万3,000円を計上いたしました。来年度からの新規事業になります。

124ページをお願いします。3 目小・中学校情報教育推進費、17節備品購入費の教職員用パソコン

は、サポートの終了に伴い機器を更新するもので1,514万1,000円、学習用タブレットは令和元年度と2年度に整備しました学習用タブレットを更新するもので、6,277万7,000円を計上いたしました。県及び県内市町村との共同調達により整備することとしております。

少し飛ばしまして、128ページをお願いします。5目小学校統合事業費は、前年と比較して1,543万4,000円増の1億1,492万4,000円を計上いたしました。

12節委託料の統合小学校新築工事等設計業務1億1,093万5,000円は、令和6年度に契約した設計業務のうち、実施設計に係るもので、契約額から児童館分を除いたものとなります。

129ページを省略しまして、130ページをお願いします。3項中学校費、1目野辺地中学校費、17節備品購入費は、授業で使うテレビ2台やアルトサククス、テナーサククス、クラリネットといった楽器などを合わせまして261万2,000円を計上いたしました。

少し飛ばしまして、133ページをお願いいたします。4項社会教育費、3目文化財保護費は、日本遺産をはじめとした歴史資源や文化財の発掘保存、継承等に係る経費として、総額で434万6,000円を計上しております。

下段の134ページをお願いします。4目中央公民館費は、前年度と比較して392万4,000円増の3,449万9,000円となりました。

1枚めくっていただいて、136ページをお願いいたします。12節委託料の舞台照明LED化工事設計業務のほか、経年劣化した舞台照明をLED化し、更新するための設計を行うもので、117万3,000円を計上いたしました。

また、1枚めくっていただきまして、138ページをお願いします。6目図書館費、14節工事請負費の自動ドア改修工事は、自動ドアの取付けから24年が経過し、推奨耐用年数を超過したため、駆動部分を更新するもので、143万円を計上いたしました。

139ページを省略しまして、次140ページをお願いします。8目有戸地区学習等供用センター費、12節委託料の外部建具及び外壁塗装改修工事設計業務は、経年劣化している外壁等の改修に係る設計を行うもので、139万9,000円を計上いたしました。

141ページに参りまして、5項保健体育費、1目保健体育総務費、18節負担金補助及び交付金の青の煌めきあおもり国スポ野辺地町実行委員会は、大会視察等の旅費や広報啓発用品の作成等に係る経費を実行委員会に補助するもので、227万5,000円を計上いたしました。

142ページをお願いいたします。3目体育館費は、前年度と比較して4,648万5,000円減の1,762万5,000円となりました。屋根の塗装等改修工事の完了が主な要因でございます。

12節委託料の競技場照明LED化改修工事設計業務は、現在使用しております水銀ランプのLED化工事に向けた設計を行うもので、103万1,000円を計上いたしました。

143ページに参りまして、4目運動公園費は、前年度と比較して237万6,000円減の816万5,000円

となりました。街灯改修工事の完了が主な要因となっております。

144ページをお願いします。5目サンビレッジのへじ費、10節需用費の修繕料は、経年劣化したプール床暖房機器の更新を予定しており、116万7,000円を計上いたしました。

145ページに参りまして、6目まかどスポーツセンター費は、トイレ改修工事等の完了により、前年度と比較して624万9,000円減の733万1,000円を計上いたしました。

7目学校給食共同調理場費は、スチームコンベクションオープンの購入完了等によりまして、前年度と比較して1,136万4,000円減の1億687万7,000円を計上いたしました。

146ページを飛ばして147ページをお願いいたします。14節工事請負費の電動シャッター交換工事は、経年劣化が著しい車庫の自動シャッターを更新するもので、237万円を計上いたしました。

10款教育費については、以上でございます。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 10款教育費について質疑を行います。ページ数を言ってから質疑願います。質疑ありませんか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 124ページをお願いします。一番上、教職員用パソコン、それから学習用タブレットの更新ということで、7,700万円余り、7,800万円近く計上されていますけれども、それぞれの台数を教えていただきたいのと、サポート終了後に更新とかと先ほど説明ありましたけれども、使用済機のその後の行方についてご説明願います。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） それでは、お答えいたします。

まず最初に、学習用タブレットの購入台数でございます。児童生徒分で665台購入する予定でございます。そのほか、補助の対象外になりますが、教師用で62台となります。

続いて、教職員のパソコン購入のほうですが、74台購入する予定でございます。

そして、古いパソコンのその後というお話ですが、小型家電リサイクル法の制定事業者に再利用、再資源化を委託する予定でございます。処分を業者をお願いするということにしております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） まず、その処分委託というところで、恐らくサポートが終了しても十分使えるパソコンというのがあると思うのですが、それを処分するために委託するということは、そこにもまたお金がかかるという解釈でよろしいですか。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） すみません、ちょっと説明不足でございました。

先ほど業者に処分ということですが、学習用タブレットのほうを今考えております。令和元年、2年度に購入したものです。

そして、先ほどの教職員用のパソコンが使えるようなお話ですが、小学校で使っているものが平成28年のもの、そして中学校のほうが令和元年度のものということで、非常に年数がたっている機器でございます。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） ありがとうございます。

128ページ、昨年度の予算で債務負担行為で統合小学校新築工事等設計業務に2億4,767万円計上されていたと思うのですが、令和6年度の予算計上ベースで7,430万円ぐらいで、残りが1億7,300万円余りあるのですが、今回1億1,000万円ちょっとというところで、差があるのですけれども、これは設計業務の入札結果をもって減ったという解釈でいいのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） そのとおりでございます。令和6年度契約しまして、令和6年度は基本設計で30%、令和7年度は70%の執行となります。

○議長（岡山義廣君） 7番、古林輝信君。

○7番（古林輝信君） 120ページの教育費の事務局費の項目、それから1節の外国語指導助手は、小学校は何名で中学校が何名おりますかをお聞きすると同時に、昨年より10万円ほど減額されておると思いますけれども、その辺の説明をお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） それでは、お答えいたします。

まず、外国語指導助手の小中学校の配置状況ですが、小学校に1名、そして中学校に1名ということです。そちらの報酬額は、昨年度に比べて10万円少ないというお話ですが、外国語指導助手の入替えがあったものです。年数を重ねるごとに報酬額は上がるのですが、ただその人が替わったことによって、1年目ということで、報酬額が減っております。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 123ページの事務局費の中にあります野辺地高等学校魅力化推進事業費の中で、資格取得費用と制服購入費と通学費用の助成とありましたので、詳しく説明をお願いしたいのと、実施時期、いつから行うのかということをお願いします。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） それでは、お答えいたします。

野辺地高校魅力化推進事業ということで、3つの事業を今考えております。1つは、制服の購入費補助ということで、大体制服7万5,000円程度かかるのですが、上限を4万円として、こちら野辺地中学校から野辺地高校に入学する生徒を対象に補助する予定でございます。

そして、2点目が通学費用の補助ということで、こちらの補助の対象は他町村から鉄道、バスを

利用して通学する生徒さんに補助する内容で、年間の定期代の4分の1を補助する予定でございます。

そして、最後に3つ目、資格取得費補助、野辺地高校に在学する生徒さんの全てが対象でございますが、英語検定、数学検定、漢字検定等は2分の1の補助、その他のビジネス文書検定とかは、検定料がちょっと割安になるものですから、こちらは全額補助する予定でございます。

そして、事業の開始時期というお話ですが、令和7年の4月に補助金を交付して、令和7年度早々から対象としたいと思います。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 136ページをお願いします。中央公民館費の委託料の一番下、舞台照明LED化工事設計業務117万3,000円と、142ページの同じく体育館費の委託料、競技場照明LED化改修工事設計業務。これは設計業務で間違いはないですか、工事ではなくて設計業務でいいのですか。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） お答えします。

中央公民館及び町立体育館のLED化に関しましては、設計業務であります。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 設計に100万円以上かかるというのは、どういう改修を行おうとしているのか、その辺説明願います。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） まず、中央公民館ですけれども、舞台の照明器具も結構な年数たっていて、照度的なものもあるし、機械的なものもちょっと老朽化しているということになります。

それで、どういう照度をもって舞台を、文化祭とかというものもありますので、どういう照度をもって、どういう色合いをもって照明器具を設置するかによるものの設計になります。

もう一点、町立体育館は様々な競技があります。それで、競技をするに当たって、やっぱり照明の照度が関わってきますので、あと台数とかも関わってくるかと思っておりますので、その設計をお願いする形となります。

以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 照度については、照度計を持っていれば、簡単に測定ができるのです。色合いについては、様々その色調なりなんなりというところを研究したりということもあるのかもしれませんけれども、それにしてもこの設計費というのは大き過ぎませんかと思ったのですが、妥

当な金額とお考えですか。

○議長（岡山義廣君） 質問はちゃんと理解していましたか。

社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） 例えば照度に関しても、色具合に関しても、専門家というか、設計業務を委託して、やっぱりきちんとしたものとして考えております。

体育館もそういう形で、例えば若干暗くなったりするのを防ぐためにもやっぱり設計組んでやりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 今の答弁だと、その照度だったり色調だったりというところを専門家に委託するという考えでいいのですか。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） 設計業務を委託して、その設計の段階で、そういう専門的な知識を持って業務を完了していただきたいと思っております。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 124ページの学習用タブレットなのですけども、これは国から1台当たり5.5万円の補助は入っているのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） それでは、お答えいたします。

まず、総事業費が6,277万7,000円でございます。その内、県補助が2,438万3,000円。町負担が3,839万4,000円ということになります。

○議長（岡山義廣君） 5番、五十嵐勝弘君。

○5番（五十嵐勝弘君） 131ページ、3目学校施設費の委託料、廃棄物処理業務、昨年なかったのですが、これ皆増で113万4,000円ございます。この内訳を教えてくださいなのですが。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） こちらは、理科で現在使用していない危険な薬品約150本ほどを専門業者に処分していただく経費となります。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 126ページにありますスクールサポーターについてなのですが、今青森県のほうでスクールサポートスタッフの配置事業ということで、積極的に教員の負担軽減を求め、負担軽減に向けた事業を市町村にも求めています。県が3分の1補助するというのも資料ではあるのですが、そのスクールサポーターとスクールサポートスタッフは、教員の仕事を補助するという形で同じような内容ではないかと思っておりますので、県の補助事業を使って少しでも町の財政に

負担をかけないような検討はされましたでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 学校教育課長。

○学校教育課長（飯田 満君） それでは、お答えいたします。

スクールサポートスタッフですが、現在も小中学校を対象に、1名ではございますが、配置、県からの事業を使って1名配置しております。そして、仕事の内容ですが、スクールサポートスタッフのほうは、授業で使用する教材の印刷ですとか物品の準備、また小テストの採点とか、教師の負担軽減を図る業務を行っております。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 140ページの保健体育費の国スポに関することなのですが、これも県のほうで競技力強化事業というものを令和8年度までやっております。強化活動費の補助を目的の一つとしておりますが、この点に関して、町は今回当初予算で検討されていますでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） 今大湊議員からありました強化事業の件は、今年度もそうですけども、県のほうからは来ておりません。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 私の手元にありますのは、県が出している昨年度の当初予算から出た資料を見ておりまして、そこには令和8年度まで競技力強化事業費というので見込んであったので、そうではないかと思って質問しました。

ちょっと質問を変えます。134ページの文化財保護費の中の縄文くらのグッズ製作業務なのですが、昨年度と比べて大幅に減額されておりますが、縄文くらの知名度がやはりまだ足りない、アップが必要ではないのかと考えておりますが、製作、もう少しグッズをたくさん作って、知名度を上げていくというお考えはないのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） 縄文くらの製作の6万6,000円のことによろしいでしょうか。今現在くらのグッズは、10種類余りありますので、今野辺地中学校の美術部さんの協力の下にいろんなデザイン的なものもやっておりますし、最近では二十歳を祝う会の景品としても活用させていただいております。さらに、日本遺産の3港連携事業でもくらのグッズを提供して、PRに努めていく次第であります。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 今の答弁なのですけれども、縄文くらのグッズは、直接私に、「このグッズって何」という、二十歳を迎えた方から聞かれました。やはり知名度が全くないと感じておるのです。これから縄文くらをますます広めて町を活性化させるという目的を持っているのか、も

うやめるのか、その辺を少し答弁いただきたいのですが。

○議長（岡山義廣君） 社会教育・スポーツ課長。

○社会教育・スポーツ課長（玉山順一君） 今年も二十歳を祝う会で、縄文くらのPRも兼ねてご説明させていただいたと理解しております。縄文くららに関しましては、今後とも継続してPR活動に努めていきたいと思っております。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 10款教育費を終わります。

次に、11款災害復旧費について、科目存置なので、説明及び質疑は省略します。

次に、12款公債費について、副町長から主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家夫君） 147ページ下段から、12款公債費についてご説明いたします。総額で7億5,626万8,000円となり、前年度と比較して1,210万4,000円の増となりました。

1目元金は7億1,806万9,000円で、前年度と比較して268万8,000円の増となりました。新庁舎建設に係る町債の令和6年度借入分の元金の増が主な要因であります。

148ページをお願いします。2目利子は、長期債約定償還利子が3,730万円、一時借入金利子が89万9,000円の総額で3,819万9,000円になり、前年度と比較して941万6,000円の増であります。近年借入利子が増加傾向にあることに加え、新庁舎建設に係る町債の令和6年度借入金の利子の増が主な要因でございます。

以上、12款公債費についてでございます。ご審議のほどよろしく願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 12款公債費について質疑を行います。質疑はありますか。

11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 148ページの公債費の利子について、町長にお尋ねします。

本年度予算で3,820万円不足ですけれども、利息を払っていると。地方債のことを一般質問等で質問すると、過疎債という有利な、要は交付税算入、国の支援があるから使わない手はないみたいな説明をされるのですが、その交付税算入がある過疎債でさえも利息は発生すると思います。その利息が3,800万円です。これについて、言い方がいいのかどうか分からないのですけれども、もったいないと思わないですか、町長。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） 私のほうからお答えいたします。

利子、過疎債といえども3割の利子を払わなければいけないのは、議員ご承知のとおりでございますけれども、事業全体を考えた場合、町予算3割でできるというほうの視点から見なければいけ

ないのかなと考えております。やはり過疎債使ってでも、町民の福祉、利便性の向上、安心安全といったことを推し進めていかなければならないものでありますので、その利子相当を払う部分については、償還するという意味では当然のことかなと思っております。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 課長のご説明はいいのですけれども、様々な政策を打つ上で、この3,800万円というお金があれば、もう一つ何か大きな政策を打てると思うのですが、町長、これについて先ほど質問したところ、課長がお答えになりましたけれども、この利息3,800万円払っていくというのは、もったいないと思わないですか。

○議長（岡山義廣君） 町長、答弁。

○町長（野村秀雄君） お答え申し上げます。

一般的には、課長がご回答申し上げるところでございますが、これをもって3,800万円がいたわしくないのかという話だと思うのですけれども、では、これで何かできるかという話をしたいのかどうかはあれなのですけれども、そうではなくて、大きい事業をするためにお金を借りるわけですから、借りたら利息を払わなければならないのは、もう太古の昔からのことでございます。それがいたわしいかどうかということではなくて、そういうことに目をやるのではなく、これからの利便性とか、よりよい生活をするために借りているわけですから、そうでないと野辺地町としては事業できないわけです、ご承知のとおりだと思いますけれども。そうやってやりくりしていくということで、将来のためにもやらなければならないことだろうと思っておりますので、ご理解いただきたいと思えます。

○議長（岡山義廣君） そのほかございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで12款公債費を終わります。

次に、13款諸支出金及び14款予備費について、副町長から主なる項目について説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家和夫君） それでは、148ページ下段の13款諸支出金からご説明いたします。13款諸支出金の総額は2億567万1,000円となり、前年度と比較して404万8,000円の増となりました。

1項基金費は、各基金への積立金を計上しております。

149ページをお願いいたします。3目学校建設基金費は、原子力立地給付金相当分のうち、8,000万円を統合小学校建設事業へ充当することとし、8,007万7,000円を計上いたしました。

6目公共施設整備基金費は、預金利子の増加及び前年度と比較して154万円増の155万円を計上いたしました。

7目役場庁舎建設基金費は、原子力給付金相当分のうち、統合小学校建設事業へ充当する8,000万

円の残額を庁舎建設に係る地方債の償還に充当することとして、4,627万4,000円を計上いたしました。

9目森林環境譲与税基金費は、1,632万6,000円を計上いたしました。積み立てられた基金は、森林の整備や木材利用の促進など、用途に沿った事業に充てることとしております。

150ページに参りまして、11目電源立地地域対策基金費は6,006万8,000円を計上いたしました。積み立てられた基金は、消防活動事業など、用途に沿った事業に充てることとしております。

14款予備費でございますが、1,000万円を計上いたしました。

以上、13款と14款の説明であります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） 13款諸支出金及び14款予備費について質疑を行います。質疑ありませんか。10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 149ページの基金費の学校建設基金費と役場庁舎建設基金費なのですが、旧原子力立地給付金相当分ということで、これまでの説明では世帯数でこの金額が変わるという説明をもらったのですが、具体的な計算方法など、計算式などを教えてください。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えいたします。

まず、計算式ですけれども、一般家庭分として電灯需要家ということで、契約口数に単価を掛けて算出します。あとは企業分、電力需要家として契約キロワット数に単価を掛けたものになります。以上です。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 基金費全般なのですが、地方財政法の第7条で、前年度、要はここでいけば令和6年度の「当該剰余金（決算剰余金）のうち二分の一を下らない金額は、これを剰余金を生じた翌年度までに、積み立て、又は償還期限を繰り上げて行なう地方債の償還の財源に充てなければならない」とあるのですが、要は令和6年度の決算での剰余金の見込額が、この全部の基金全体にはまるのか、財政調整基金だけにはまるのか、ちょっと教えていただきたいのですけれども。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えいたします。

当てはまるのは、財政調整基金と減債基金となります。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） ありがとうございます。であれば、財調に115万円と減債基金に7万円ということで122万円、これが剰余金の2分の1以上という見込みだということでの解釈でよろしいですか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えします。

現時点では、その分は見込んでおりません。預金利息等でしか、今のところ当初予算では見込んでおりません。

○議長（岡山義廣君） 10番、大湊敏行君。

○10番（大湊敏行君） 先ほどの答弁で、契約数掛ける単価、キロワット数掛ける単価という話がありました。この単価というものの、これまで変動されていると思うのですが、どれくらい変動幅があったりするものなのでしょうか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） お答えいたします。

私の持っている資料の中で、まず変動した額はないのですが、一時的に減っている状況にはあります。

○議長（岡山義廣君） 11番、赤垣義憲君。

○11番（赤垣義憲君） 一般質問でもしたと思うのですが、令和6年2月の全協で示された基金の使い道で、原子力立地給付金相当額を学校建設基金と庁舎建設基金に振り分けていくということで、昨年の2月の説明ですと、この積立てが令和15年度で終わるという説明だったのですが、一般質問のときはまた違う説明を受けたのです。いつまでこの庁舎建設基金を積み立てていくという返答をいただいたのか、ちょっと記憶が定かではないので、もう一度お聞きしたいのですが、庁舎建設基金に積み立てるのは、いつまで続くのですか。

○議長（岡山義廣君） 企画財政課長。

○企画財政課長（長根一彦君） まず、当初令和15年度までということでご説明していたのですが、学校のほうに充てるということで、令和25年までとなります。

以上です。

○議長（岡山義廣君） そのほかございません。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） これで歳出の質疑を終わります。

次に、予算書12ページから14ページまでの第2表、繰越明許費、第3表、地方債について副町長の説明を求めます。

副町長。

○副町長（江刺家和夫君） それでは、予算書12ページをお願いいたします。

第2表、繰越明許費、9款消防費、1項消防費、消防用車両整備事業負担金と、下段の消防団車両更新事業であります。令和7年度中の車両の納車が難しい状況であると見込まれることから、繰

越明許費の設定を行うものであります。

続いて、13ページをお願いいたします。第3表、地方債であります。令和7年度に予定しております地方債の借入れについては、歳入でご説明申し上げましたが、消防用車両整備事業負担金など、件数で26件、金額にして7億6,890万円となります。なお、利率は4%以内を予定しております。

以上でございます。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○議長（岡山義廣君） それでは、第2表、繰越明許費、第3表、地方債について、一括で質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 以上で本案の質疑を終わります。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 討論なしと認めます。

これから議案第6号を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決定することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（岡山義廣君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第6号は原案のとおり可決されました。

---

◎散会の宣告

○議長（岡山義廣君） 以上で本日の日程は全部終了しました。

本日はお疲れさまでした。散会します。

（午後 3時34分）

